

令和 7 年度

地域貢献活動 報告書



群馬県立県民健康科学大学

専門職向けキャリア開発支援事業

● 県立病院・県内病院連携事業



心臓血管センター

各病院が抱える課題解決に向け組織レベルで展開



がんセンター



精神医療センター



大学



小児医療センター

- 共通テーマ**
- 4病院共通看護職員のキャリア開発の現状と課題
 - 共同研究を通じた人材育成と大学への知の還元
 - 備品の長期貸出
 - 県内病院への看護教員派遣
「専門看護師・認定看護師による相談支援」

● 看護学教員養成課程 ● 看護学実習指導者養成講習会



講義の模擬授業



演習の模擬授業

- 県内の看護学教員を目指す看護職者や病院などで学生や後輩看護師教育に携わる看護職者への教育機会の提供
- 大学の教育理念に基づき独自のカリキュラム（厚労省認可）
- 大学看護学部での看護基礎教育と連動する本学ならではの教育展開

県民向け事業

● 公開講座・出前講座

- 県民向けの「公開講座」「公開授業」「出前講座」により本学の教育と研究成果を県民に直接的に還元



公開講座の様子



出前講座の様子

● 放射線測定協力事業

- 放射線測定に関する助言・研修会
- 測定値の解釈・評価・公開
- 対策の立案・実施に関する助言
「県民の安全安心の提供」



研修会の様子



放射線測定の様子

● 情報発信事業

- 大学や本センターの活動を広く県民に周知



- リーフレットの作成
- News Letterの発行(年3回)
- 地域貢献活動報告書の発行

● 地域連携事業

- 他大学との連携、ボランティア活動により、県民の保健医療福祉に寄与する地域に根ざした取り組み



- ボランティア活動
(地域および病院での活動)

- 県内他大学との協力・連携事業
- 一般住民・団体を対象とした講演・研修
- 桂萱地区・芳賀地区住民との協働
- 地域に開かれた図書館

県民 専

地域

● 目指す地域

看護学分野

- 看護学教員養成課程
- 看護学実習指導者養成講習会
- 看護職研究支援事業
- 看護師特定行為研修課程
- 県立病院・県内病院連携事業
- 健康福祉政策事業
- 地域連携事業

県立の保健医療系大学として研究成果などを、県民をは者、行政などに対し還元する療・福祉の向上に寄与する

地域連携・キャリア開発センター ともに発展することを目指して

● 看護師特定行為研修課程

- 指定研修機関として、群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、手順書により一定の診療の補助ができる看護師を養成する機会の提供
- 授業ではeラーニングを導入、働きながら学修できる環境を準備



気管カニューレ交換実技試験

診療放射線リカレント教育



放射線治療講習会



MRI技術講習会

- 放射線治療講習会
- 診療放射線技師CT・MRI研究会
- 診療放射線技師継続教育等
- 群馬県診療放射線技師会講習支援
- 国際化研究支援
- 診療放射線技師核医学研究会

● 看護職研究支援事業 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」



講義：研究計画書の作成



講義：文献検索と文献検討



講義：研究における倫理

看護研究個別支援

- 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」による看護職者への研究活動の支援
- テーマに合わせた担当教員の決定、およそ9か月にわたる個別支援

門 行政

連携

貢献の方向性

診療放射線学分野

- 診療放射線リカレント教育
- 放射線測定協力事業

- 情報発信事業
- 健康寿命延伸プロジェクト
- 公開講座・出前講座

て、大学が所有する知的財産
じめ広く関係機関、医療従事
ことにより、県民の保健・医

行政との協働事業

● 健康寿命延伸プロジェクト

群馬県健康福祉部
健康長寿社会づくり推進課

×

県民健康科学大学

- 地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化
- 調査研究・実践プログラムの開発・人材育成

科学的根拠に基づいた健康づくり対策の展開

- ① 群馬県健康福祉部との共催による「元気に動こう・歩こうプロジェクト」の推進
- ② 市町村との共催による「健康寿命延伸シンポジウム」の開催
- ③ 小規模町村支援事業（榛東村の健康づくり推進に関する包括協定）
- ④ 健康増進効果検証事業（群馬県立ゆうあいピック記念温水プール）など



元気県ぐんま



● 健康福祉政策事業

群馬県
健康福祉部
生活こども部

情報交換
マッチング

大学
看護学部
診療放射線学部

- 認知症サポーター・ステップアップ講座教材の普及活動
- 子育て講座プログラム政策・普及
- 群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定



令和7年度地域貢献活動報告書の発刊に寄せて

— 地域連携・キャリア開発センターは機関別認証評価において高い評価を受けました —

本学は、県立の医療系大学として、群馬県民の生涯にわたる健康水準の維持・向上に貢献する保健医療専門職の育成を目的としています。この目的を実現するための取組の一つとして、地域連携・キャリア開発センター（以下、「センター」）を設置し、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与するさまざまな活動を展開しています。

令和7年度のセンター事業は、「看護継続教育」「病院連携・研究支援」「診療放射線リカレント教育」「地元創成・連携推進」の4部門15事業で構成しました。これらの事業は、「専門職向け」と「県民向け」に2つを柱として展開しており、専門職向けにはリカレント教育や研究支援、各種研修会の開催、県民向けには公開講座や出前講座、県内関係機関との連携によるイベントへの支援等を実施しました。いずれも、実務や地域のニーズに密着した内容となっています。

令和7年度も、全教員が事業運営に携わり、それぞれの研究テーマや教育経験を生かして活動に参加しました。また、事務局においては事業の遂行や予算の管理・執行を担い、センターの地域貢献活動は教職員一丸となって推進されました。

令和7年度、本学は、文部科学大臣が認証した評価機関である一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる大学機関別認証評価を受審し、大学基準に適合していると認定されました。さらに、評価報告書の総評では、【優れた点】として3項目が挙げられ、そのうちの1項目としてセンターの取組が高く評価されました。

評価報告書には、『地域連携・キャリア開発センターにおいて大学の知的財産・研究成果を活用し、専門職者向けのリスキリング・リカレント教育、研究支援、県民向けの公開講座及び県内行政・福祉・教育機関との連携による研修会等、地域密着型事業の実施を通して県民の健康維持・増進や保健・医療・福祉環境の向上に寄与している。』と記されました。

このような高い評価をいただいたことは、これまで連携を重ねてきた多くの関係機関・関係者の皆様との協働、そして先達の地域への思いを受け継ぎながら教職員一同で積み重ねてきた活動の賜物であると考えております。

本センターは、本学の歴史と伝統を礎としながら、医療の高度化や高齢化の進展、人口減少などの社会環境の変化にも柔軟に対応し、今後も地域に根ざした活動に誠実に取り組んでまいります。

今年度も多大なるご支援とご協力を賜りました関係者の皆様、そして事業をご活用いただきました県民の皆様にご心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年10月

地域連携・キャリア開発センター長 飯田 苗 恵

目 次

I 地域連携・キャリア開発センターの活動

1. 群馬県立県民健康科学大学 地域連携・キャリア開発センター概要	
1) 設置概要	2
2) 事業概要	3
2. 事業報告	
1) 看護学教員養成課程	4
2) 看護学実習指導者養成講習会	6
3) 看護師特定行為研修課程	8
4) 県立病院・県内病院連携	10
5) 看護職研究支援	12
6) 放射線治療講習会	14
7) 診療放射線技師CT・MRI研究会	15
8) 診療放射線技師継続教育等	17
9) 群馬県診療放射線技師会講習支援	18
10) 国際化研究支援	19
11) 診療放射線技師核医学研究会	20
12) 公開講座・出前講座	21
13) 情報発信	22
14) 健康福祉政策・地域連携	23
15) 健康寿命延伸プロジェクト	27
16) ピックアップ	29
17) Newsletter	30

II その他の地域貢献活動

1. 学会活動	38
2. 一般住民・団体を対象とした講演・研修	44
3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修	45
4. 行政組織での活動等	47
5. 任意団体での活動等	49
6. 他教育機関非常勤講師	51
7. 報道記事	54

III 関連規程

・群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程	56
・群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター運営会議 及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会設置運営細則	57

1) 設置概要

本学はこれまで、看護師、保健師及び診療放射線技師の養成校として、臨床現場で活躍できる多くの医療専門職を育成することで、地域の医療水準及び県民の健康水準の向上に貢献してきました。そのような中、平成19年の学校教育法の改正等により、「社会貢献」が「教育」、「研究」に次ぐ大学の第3の役割に位置づけられたことを踏まえ、本学においても、これまで以上に地域貢献を推進するため、平成24年4月に大学附属機関として、地域連携センターを設置しました。

また、令和6年度から、組織体制を4部門（計15事業）に再編した上で、「地域連携・キャリア開発センター」に名称を変更しました。

本学地域連携・キャリア開発センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民福祉の向上に寄与することを目的として、地域貢献に関する各種事業に取り組みます。

■地域連携・キャリア開発センター運営会議構成員一覧（令和7年4月1日時点）

区 分		氏 名
委員長	地域連携・キャリア開発センター長	飯 田 苗 恵
副委員長	地域連携・キャリア開発副センター長、情報発信	狩 野 太 郎
	地域連携・キャリア開発副センター長、診療放射線技師核医学研究会	大 崎 洋 充
委 員	看護学部長	大 澤 真奈美
	診療放射線学部長	上 原 真 澄
	看護学教員養成課程、看護学実習指導者養成講習会	高 橋 裕 子
	看護師特定行為研修課程	清 水 裕 子
	県立病院・県内病院連携（看護学部）	行 田 智 子
	県立病院・県内病院連携（診療放射線学部）	米 持 圭 太
	看護職研究支援	戸 谷 幸 佳
	放射線治療講習会	高 田 健 太
	診療放射線技師CT・MRI研究会	川 村 拓
	診療放射線技師継続教育等	渡 部 晴 之
	群馬県診療放射線技師会講習支援	五十嵐 博
	国際化研究支援	林 則 夫
	公開講座・出前講座	多 鹿 友 喜
	放射線測定協力	杉 野 雅 人
	健康寿命延伸プロジェクト	宮 崎 有紀子
	事務局	窪 田 智佳子
	（学外有識者：県健康福祉部健康福祉課）	齊 藤 猛
	（学外有識者：県看護協会）	神 山 智 子
	（学外有識者：県診療放射線技師会）	後 閑 隆 之
	（学外有識者：県医師会）	小 林 由美子
	（学外有識者：県立心臓血管センター）	内 藤 滋 人

2) 事業概要

事業名	事業概要
1 看護学教員養成課程 P.4～5	看護師養成教育機関の看護学教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当者を対象とし、看護基礎教育に携わる教育者としての役割を遂行するために必要な知識・技術を教授する。大学主体で看護基礎教育に携わる教育者の教育実践能力の維持向上を図る。
2 看護学実習指導者養成講習会 P.6～7	県内の保健師、助産師、看護師、または准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者、または将来実習指導者となる予定の者を対象に、看護基礎教育における実習の意義と実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を教授する。大学の企画・運営により看護学実習指導に携わる人材を育成するための学修機会を提供する。
3 看護師特定行為研修課程 P.8～9	特定行為に係わる看護師の研修制度の指定研修機関として、県内の慢性期・在宅医療等に貢献できる修了者を養成するための研修の機会を提供する。
4 県立病院・県内病院連携 P.10～11	県立4病院（心臓血管センター、がんセンター、精神医療センター、小児医療センター）及び県内病院と本学で、病院が抱える課題（人材育成等）について、その解決に向けた連携事業を継続して、組織レベルで展開する。
5 看護職研究支援 P.12～13	県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する原則看護師、保健師、助産師を対象に、看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するための看護研究セミナーと、研究テーマに沿って看護研究の一連の過程を本学教員が支援する看護研究個別支援を実施し、県内の看護職者の研究活動を支援することで、研究能力の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する研究成果の産出を図る。
6 放射線治療講習会 P.14	がん放射線治療に携わる専門職（医学物理士、放射線治療専門診療放射線技師等）の教育および養成のために講演会などを開催し、放射線治療技術の普及や向上とともに、がんの早期発見に繋がる検診への関心を高める。
7 診療放射線技師CT・MRI研究会 P.15～16	県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発表に必要な方法を討論する研究会を実施する。
8 診療放射線技師継続教育等 P.17	県内診療放射線技師の撮像技術向上事業として、「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会等を開催するほか、MRIを用いた共同研究と研修会を実施する。これらにより、診療放射線技師が最新の知識・技術を習得できるようにし、がん等の疾病の早期発見の機会の増加を図る。
9 群馬県診療放射線技師会講習支援 P.18	診療放射線技師の業務拡大に伴い、群馬県診療放射線技師会で行われる注腸造影検査および静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会へ講師の派遣を行い、地域の診療放射線技師の技術向上に貢献する。
10 国際化研究支援 P.19	県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際学会発表を目的とした講習会等を実施する。
11 診療放射線技師核医学研究会 P.20	県内診療放射線技師および学生を対象に、核医学検査に関する講習会を開催する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。
12 公開講座・出前講座 P.21	県民向けの公開講座、出前講座及び公開授業等を行い、地域貢献活動を積極的に行う。
13 情報発信 P.22	大学や本センターの活動を広く県民に周知するために、Newsletter、リーフレット及び地域貢献活動報告書を発行する。
14 健康福祉政策・地域連携 P.23～26	健康福祉政策の観点からは、群馬県健康福祉部との情報交換を行い、マッチングした事業の展開を図る。 また、地域連携の観点からは、学生ボランティア活動の支援体制の充実に取り組むとともに、放射線測定に関する助言・指導、測定値の解釈・評価、対策の立案・実施に関する助言等を通じて、県民に安全・安心の提供を図る。
15 健康寿命延伸プロジェクト P.27～28	群馬県民の健康寿命延伸を目的として、群馬県健康福祉部及び県内市町村等との協働による地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化、調査研究、実践プログラムの企画及び実施、人材育成及び県民に対する健康寿命延伸に関わる知識、技術の普及等、根拠に基づく健康づくり対策を展開する。

看護学教員養成課程

担当者／看護学部 ◎高橋(裕) 准教授、服部教授、松田教授、山下教授、金谷准教授、高橋(美)講師

1 事業目的・内容

令和7年度厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受け、県との委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

- 1 新カリキュラムによる授業（750時間）を提供
- 2 公開授業開催（7月、2月予定）
- 3 運営会議（年7回予定）
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請
- 5 令和8年度学生募集 課程生20名、科目履修生若干名
 - ・課程紹介パンフレット、ポスターの作成・配布
 - ・群馬県広報、上毛新聞に学生募集の案内を掲載
 - ・説明会の開催（7・9月予定）
 - ・令和8年度入学者選抜試験（1次募集：12月11日・2次募集：2月19日）
- 6 申請または報告等に関する手続
 - ・認定申請の手続き：2月
 - ・報告書の作成：3月

2 実施結果

- 1 課程生12名への授業計画に沿った授業の実施
20科目、カリキュラム750時間
教育実習実施：令和7年10月14日～11月14日
- 2 公開授業開催
第1回：令和7年7月24日・25日（参加者37名）
第2回：令和8年2月3日（参加者32名）
- 3 運営会議（7回開催）
学生募集、入学者選抜試験、修了判定などに関すること
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請：制度利用者1名
- 5 令和8年度学生募集20名
 - ・課程紹介パンフレット、ポスターを募集要項とともに関東甲信越・東北地方に配布
 - ・群馬県広報、上毛新聞に学生募集案内を掲載
 - ・説明会の実施（7月26日：6名、9月26日：46名）

- ・群馬県看護学会にて、県内施設の活動紹介として展示、学生募集の説明実施
- ・令和8年度入学者選抜試験
 - 1次募集：12月11日 7名合格（1名辞退）
 - 2次募集：2月19日 1名合格
- 入学予定者 7名

6 厚生労働省への認可申請書類、報告書作成

- ・認可申請の手続き：2月
- ・報告書の作成：3月

3 事業成果・効果

受講生12名が修了した。授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目、効果的な授業が展開され目標達成につながった。

学生募集活動やHPの内容充実の他、公開授業を県内病院に周知し、公開授業参加者の増加につながった。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は、入学者の継続的充足である。医務課との協議の結果、県内外への募集活動をこれまで以上に積極的に行い、リモート授業の活用可能性を検討するなど、本課程への志願者増加に向けて活動していくこととなった。

看護学実習指導者養成講習会

担当者／看護学部 ◎高橋(裕)准教授、服部教授、松田教授、山下教授、金谷准教授、高橋(美)講師

1 事業目的・内容

群馬県内の看護学実習指導者を養成するための講習の機会を提供する。県との委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和7年7月14日（月）～9月26日（金）(実質30日間)
- ・募集定員：一般48名、特定分野8名

2 受講生への授業の提供

- ・授業科目7科目（10単位180時間）
県内病院・訪問看護ステーションでの実習を含む

3 運営会議（年5回予定）

4 HP作成

- ・講習会の内容、受講生募集案内などの掲載

5 令和8年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

6 報告等に関する手続

- ・実績報告書の作成：10月
- ・群馬県健康福祉部医務課への事業実施報告

7 群馬県健康福祉部医務課との情報交換、連携

2 実施結果

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和7年7月14日（月）～9月26日（金）

2 受講生（一般46名、特定分野6名）への授業計画に沿った授業の実施

- ・授業科目7科目（10単位180時間）
- ・参加観察実習実施：令和7年9月1日（月）～9月11日（木）
実習施設：伊勢崎市民病院
SUBARU 健康保険組合太田記念病院
群馬県看護協会訪問看護ステーション
群馬県看護協会訪問看護ステーション渋川
群馬県看護協会訪問看護ステーション粕川

3 運営会議（6回）

4 HP作成

- ・講習会の内容、受講生募集案内などを掲載

5 令和8年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

- ・受講生 一般：48名、特定分野：10名
- ・講習会実施期間：令和8年7月13日（月）～9月25日（金）

6 報告等に関する手続

- ・10月31日医務課と打ち合わせ会議開催、実績報告書提出

7 次年度の事業実施に向け、募集に関する事項を決定した。

- ・特定分野を、助産師養成所における助産学・看護師養成所における小児看護学、母性看護学等を含めることとし、受講対象者を広げ、募集することとする。

3 事業成果・効果

一般46名、特定分野6名が講習会を修了した。

授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目効果的な授業が展開され、目標達成につながった。

全期間大学で開催できるよう教室を確保し、受講生の教育環境を整えた。

実習施設が2施設となったが、2施設の協力を得て、実習配置を検討した結果、問題なく実施できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は、実習環境の整備である。次年度以降も教育の質を担保しつつ実習を行えるよう教員配置などを検討していく。

看護師特定行為研修課程

担当者／看護学部 ◎清水教授、○上山准教授、飯田教授、佐藤(正)准教授、河内講師、
佐々木講師、鈴木(恵)講師、湯澤講師
診療放射線学部 瀬川教授

1 事業目的・内容

群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、チーム医療のキーパーソンとして貢献できる特定行為研修修了者を養成するための研修の機会を提供する。

1 課程生への研修の実施

- ・一般5名（病院2名、訪問看護3名）

2 研修運営委員会（年8回程度の予定）

3 研修管理委員会（年2回程度の予定）

4 令和8年度入学生の募集・入学試験

- ・一般：1次8月28日、2次11月28日
- ・区分別科目追加履修：8月28日

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

（研修修了者の活動環境の整備について）：9月25日

6 届出、申請または報告等に関する手続

7 フォローアップ研修の企画・開催

8 新たな区分の導入等に関する検討

9 職業実践力育成プログラム（BP）の認定及び専門的な教育訓

練給付金等の申請が可能となる教育環境整備の検討

10 共通科目のeラーニング業者の変更及び令和8年度協力施設へのアクセス開放に向けた検討

11 群馬県健康福祉部医務課、他指定研修機関との情報交換、連携等による県内特定行為研修の推進

2 実施結果

学内教員、非常勤講師、模擬患者、協力施設の指導者の協力を得て研修機会を提供した。

1 一般5名への研修の実施

- ・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の区分でポータブルエコー活用の授業、臨地実習課題を継続

2 研修運営委員会の開催

- ・定例8回、持ち回り1回

3 研修管理委員会の開催

- ・ 2 回：7 月書面会議、3 月オンライン会議

4 令和 8 年度入学生の募集・入学試験の実施

- ・ 9 月：一般 3 名合格
- ・ 11 月：二次募集 受験者なし

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

- ・ 9 月：5 施設、複数名の管理者の参加があり参加者数不明

6 届出、申請または報告等に関する調整・手続

- ・ 新規協力施設申請：松井田病院、あい太田クリニック、本庄早稲田クリニック、北毛病院、北毛診療所の 5 施設

7 フォローアップ研修の企画・開催

- ・ 第 1 回：9 月、気管カニューレ交換、症例検討会
- ・ 第 2 回：3 月、今年度の活動報告及び次年度予定

8 新たな区分の導入に関する検討：関係者への聴取等

9 今年度で共通科目の放送大学 e ラーニング教材の契約を終了、次年度より S-QUE 研究会と契約予定

10 群馬県との連携

- ・ 県主催・3 施設共催「令和 7 年度看護師特定行為研修修了者活躍推進に係る看護管理者情報交換会」及び「令和 7 年度群馬県特定行為研修修了者フォローアップ研修会」を 9 月及び 11 月に開催

3 事業成果・効果

6 期生一般 5 名が修了した。フォローアップ研修 2 回を継続、臨地実習でのポータブルエコー活用の継続は好評である。県と連携した県内の特定行為研修修了者対象のフォローアップ研修の開催は、県内の特定行為研修の推進に繋がると考える。

4 事業の課題及び改善の方向

課題は①本学フォローアップ研修への県内修了者の参加の検討、②新たな区分の導入や本学修了生の県内他指定研修機関での区分別科目追加履修の可能性の検討、③令和 8 年度共通科目の e ラーニング業者の変更及び協力施設へのアクセス開放の実施、④群馬県健康福祉部医務課、群馬県看護協会、他指定研修機関との連携による県内の特定行為研修の推進である。

県立病院・県内病院連携

担当者／看護学部 ◎行田教授、狩野教授、廣瀬教授、清水教授、戸谷准教授、垣上講師、富永講師、和田講師、鈴木(峰)助教、福田助教
診療放射線学部 ◎米持講師、下瀬川教授

1 事業目的・内容

- ・県立4病院共通課題事業及び病院別課題解決のための連携事業を組織レベルで展開する。
- ・人材育成やSDに関する課題解決のための支援、臨床における課題解決のための支援、各種講演や研修会の開催等を検討・実施する。
- ・県内病院の課題解決に向けて、専門看護師によるニーズに応じた相談・支援を実施する。

<看護部門>

1 県立病院連携事業の共通課題の検討支援

- ①病院局経営戦略課看護人材支援専門官および4病院看護部長等とともに、昨年度からの課題の検討を継続する。
- ②県立4病院の人材育成の検討課題「副看護師長の人材育成について」の解決に向けて検討する。

2 病院別課題解決における支援

- ①小児医療センターや他の県立病院の要請に応じて、連携事業を継続して実施する。

3 県内病院における課題解決に向けた相談・支援

- ①課題・ニーズに応じて専門看護師（老年看護、がん看護）による専門的立場からの相談・支援等を実施する。
- ②引き続き活動内容を周知する。

<診療放射線部門>

- 1 共同研究等を通じた人材育成と大学への知の還元（共通）
- 2 備品の貸出（共通）
- 3 備品の貸出事業の利用拡大に向けての備品データベースの構築

2 実施結果

<看護部門>

1 県立4病院連携事業会議の開催

- ①日時：1回目 令和7年9月22日（月）10：00～11：30
Zoom（ハイブリッド型）
2回目 令和8年2月2日（月）14：30～16：00
Zoom（ハイブリッド型）

- ②出席者：県立病院局課長・看護人材支援専門官・係長、
県立4病院看護部長・副看護部長・教育担当師長
センター長・学部長・事業責任者・担当者

- ③内容：副看護師長の人材育成～副看護師長の教育システムの構築～について、副看護師長へ学習ニーズ等の調査の実施および検討結果、教育プログラムの対象者とする年数、プログラムの枠組み等について意見交換を行った。

2 回目は、第 1 回目の意見交換による再分析およびその結果、プログラム対象者、時期とプログラムの概要、研修後のフォローアップ等について意見交換を行った。令和 8 年度より、新任副看護師長を対象に教育プログラムの立案・実施に向けて行われることとなった。

- 2 県内病院連携事業は、2 施設で開始し、A 施設 6 回、B 施設 4 回訪問し、認知症ケアの講義や看護計画等の相談、検討を行っている。また、研究発表や論文執筆の支援を行っている。
令和 8 年度に向け、活動の周知および施設募集について、様式等の書類を整備した。

<診療放射線部門>

- 1 群馬県立施設（病院・県庁・保健福祉事務所）に所属する診療放射線技師が中心となり開催する群馬県立診療放射線技師会第 29 回学術部研究発表会の開催に協力した。
- 2 令和 7 年度の貸し出し実績数は 6 件であった。（貸出備品：ファントム、線量計）
- 3 令和 6 年度に引き続き備品貸し出し事業の利用拡大に向けての備品データベース構築のため、データベースフォーマットの設計・試作を行った。

3 事業成果・効果

<看護部門>

県立 4 病院連携事業会議により、課題「副看護師長の人材育成」に取り組み、課題解決に向けた方法や支援に寄与できたと考える。また、県内病院連携事業は、2 施設にて開始し継続的に訪問し、施設のニーズに合わせて活動ができている。

<診療放射線部門>

- 1 群馬県立施設（病院・県庁・保健福祉事務所）との連携強化および人材育成に寄与した。
- 2 群馬県内施設における安全かつ円滑な業務遂行を支援するとともに、地域医療機関との連携強化および医療安全体制の向上に寄与した。
- 3 今年度は備品データベース貸し出しの環境整備を行った。引き続きデータベースの構築を行っていく。

4 事業の課題及び改善の方向性

<看護部門>

- 1 県立 4 病院の人材育成の検討課題として、次年度も「副看護師長の人材育成」を行っていく予定である。
- 2 県内病院連携事業は、病院のニーズを把握すると共に、継続して活動していく。さらに広報活動を行い、対象施設を増やす予定である。

<診療放射線部門>

- 1 群馬県立施設（病院・県庁・保健福祉事務所）への知の還元事業に関する要望把握に努めたい。
- 2 引き続き要望が寄せられた備品について貸し出しを行っていく
- 3 貸し出し備品の利用を高めるため引き続きデータベースの試作を進め利用しやすい環境整備を進めていく。

看護職研究支援

担当者／看護学部 ◎戸谷准教授、中村准教授、生方講師、島田講師、樋口講師、福島講師、久保田助教

1 事業目的・内容

県内の病院、行政機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する原則看護職者を対象に、看護研究セミナーと看護研究個別支援の連動を図り実施する。

1. 看護研究セミナーの開催（ハイブリッド開催）

- 1) オンデマンド配信（令和7年5月2日～7月31日）
 - 第1回「看護研究計画書の作成」
 - 第2回「看護研究における倫理と手続き」
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」
- 2) 対面演習の開催（令和7年5月24日）
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」のみ実施

2. 過年度の看護研究個別支援成果報告・相談会（対面開催）

- ・日程：令和7年5月24日
- ・内容：令和5・6年度に支援を受けた2グループより支援内容と成果等を報告後、意見交換

3. 看護研究個別支援の実施

- 1) 新規支援：5グループ程度
 - ・新規支援期間 令和7年7月～令和8年3月
- 2) 継続支援：前年度に支援を受け継続支援を希望した人
 - ・継続支援期間：令和7年4月～令和8年3月

2 実施結果

1. 看護研究セミナー（ハイブリッド開催）：受講者82名

- 1) オンデマンド配信（令和7年5月2日～7月31日）
 - 第1回「看護研究計画書の作成」
 - 第2回「看護研究における倫理と手続き」
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」
- 2) 対面演習の開催（令和7年5月24日）：受講者：23名
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

2. 看護研究個別支援成果報告会：参加者21名

- ・対面開催（令和7年5月24日）報告者2名

3. 看護研究個別支援の実施

- 1) 新規支援：9グループ
 - ・新規支援期間 令和7年7月～令和8年3月
- 2) 継続支援：5グループ
 - ・継続支援期間：令和7年4月～令和8年3月

3 事業成果・効果

看護研究セミナーでは、8圏域、病院や保健所など17施設の看護職が受講し、高い評価を得た。受講者が昨年度の36名より2倍以上に増加した。対面での文献検索演習や、個別支援成果報告会への受講者も倍増し、好評を得た。

看護研究個別支援は、9グループに新規支援を行った。また、5グループの継続支援を行い、2つのグループが学会発表を行うことができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

- 1) 受講者アンケート結果を反映し、今年度は研究セミナーの配信期間を延長し、また対面での演習や成果報告会の時期を早めた。さらに県内の介護老人保健施設にも研究セミナーの案内を送付した。これらの改善が受講者の大幅な増加につながったと考え、令和8年度も同様の事業計画とする。
- 2) 個別支援では、新規受講者を支援するうえで研究動機の明確化や、適切な文献検索が課題であり、支援方法を検討する。

放射線治療講習会

担当者／診療放射線学部 ◎高田准教授、大野准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 放射線治療専門職（医学物理士、放射線治療専門技師）養成のための医学物理セミナーを開催
- 2 群馬放射線治療技術研究会を後援
- 3 群馬県内の放射線治療セミナーの企画と講師派遣

2 実施結果

第1回医学物理学講演会

テーマ：「吸引式固定具の作成方法を再考する」

日 時：令和7年12月15日

会 場：群馬県立県民健康科学大学 多目的ホール（西棟1階）

参加者35名

第2回医学物理学講演会

テーマ：「体幹部定位放射線治療を学びなおす」

日 時：令和8年2月15日

方 法：ZoomWebinarによるWeb開催

参加者172名

3 事業成果・効果

第1回目のセミナーは県内の放射線治療実施施設をおもな対象とし、当日は35名の診療放射線技師・医学物理士が参加した。前半では本学津野助教による特別講演が行われ、後半では県内で放射線治療を実施している4つの医療施設から講師を招聘し、日々の臨床業務で留意している固定具作成のポイントなどを「講演＋実演」の形式で紹介頂いた。特に実演においては、各施設から活発な意見が出され、有意義な講演会となった。

第2回目のセミナーは、「体幹部定位放射線治療を学びなおす」というテーマを掲げ、固定具作成における実践的工夫、処方線量の考え方、医療安全、品質管理、線量計測などについて体系的に学べる機会を提供した。3名の講師を招聘し、チャット形式のQ&Aを採用することで双方向性を担保した。本セミナーを「医学物理士認定機構が認定する講習会」として登録し、医学物理士を維持するために必要なポイントを取得できる講習会とした。

4 事業の課題及び改善の方向性

放射線治療に携わる医療従事者の育成については、継続的な教育機会を提供し質的向上を図る必要があるため、今後も本学独自のセミナーの開催等を通じ、放射線技術系および医学物理関連の基礎教育や継続教育に取り組んでいく。なお、「医学物理士認定機構が認定する講習会」への登録は、これまで無料であったが、次年度以降は申請料が必要となることがアナウンスされている。登録の必要性については、適宜判断したい。

診療放射線技師CT・MRI研究会

担当者／診療放射線学部 ◎川村准教授、林教授、丸山准教授

1 事業目的・内容

1. 県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発信に必要な方法を討論する研究会を実施する。
2. 画像診断検査の向上を目的とした研究会の広報やオンライン研究会を共催または後援として支援するとともに、必要に応じて講師を派遣する。
3. 主催事業として、CT・MRI研究会（ゼミ）を年間3～4回開催し、若手技師や研究者の育成を図る。
4. 共催事業として、ベーシックRTぐんま会および群馬Gyroユーザーズミーティングの開催支援を継続し、特にハイブリッド形式での開催を推進することで、対面とオンラインの利点を活かした運営を行う。
5. 研究会の成果を学会発表につなげるため、論文化や発表準備の支援を行う。
本計画に基づき、県内の診療放射線技師の臨床研究をさらに促進し、学術的な発展に寄与することを目指す。

2 実施結果

主催事業として1回の研究会をオンラインで開催した。

- ・令和7年度第1回健科大CT・MRI研究会（ゼミ）開催
：令和7年9月16日（火）13：00～14：00 Zoomミーティング（参加者3名）
他、適宜メール等で個人対応

共催事業として以下の研究会の支援及び開催を行った。

1. ベーシックRTぐんま会

- ・2025年第1回ベーシックRTぐんま会の事前会議
：令和7年4月7日（月）19：00～20：00 対面＋Zoomミーティング（参加者10名）
- ・第7回ベーシックRTぐんま会開催
：令和7年7月3日（木）19：00～21：00 Zoomウェビナー（参加者約40名）
- ・第8回ベーシックRTぐんま会の事前会議
：令和7年9月25日（木）19：00～20：00 Zoomミーティング（参加者約8名）
- ・第8回ベーシックRTぐんま会開催
：令和7年12月11日（木）19：00～21：00 Zoomウェビナー（参加者約40名）

2. 群馬Gyroユーザーズミーティング

- ・令和7年度群馬Gyroユーザーズミーティング世話人会（ハイブリッド：Zoomと放射線第1準備室）
：令和7年6月3日（火）19時00分～20時30分 参加者10名
- ・第20回群馬Gyroユーザーズミーティング（ハイブリッド：Zoomと多目的ホールのハイブリッド）
：令和7年9月9日（火）19時00分～20時45分 参加者38名

3 事業成果・効果

主催事業の研究成果を以下の通り学術発表できた。

【学会発表：JSRT第53回日本放射線技術学会秋季学術大会】

- ・ 散乱線の影響を考慮した被写体スペクトル特性に基づく画質統一化の検討
- ・ シンチレータの異なるフラットパネルディテクタの非線形画像処理における画質評価

【学会発表：JSRT第72回関東支部研究発表大会】

- ・ 最頻値を用いたIVIM解析手法の初期値依存性の検討
- ・ U-Netによる仮想脂肪抑制の汎化性能性能評価：模擬病変タイプによるモデル応答の解析
- ・ MRI撮像時の温度上昇に対するファントム容積の影響：粘性材料を用いた実験的検討
- ・ 撮像パラメータがモーションアーチファクトの低減に及ぼす影響：ファントムを用いた検討
- ・ 胸骨の視認性評価におけるPV-based ROC分析の有用性
- ・ 血管撮影領域におけるedge-weighted CNRの有用性についての基礎的検討
- ・ 腸骨動脈造影における画像処理評価方法の検討
- ・ 胸部X線画像病変検出ソフトウェア解析の基礎的検討

4 事業の課題及び改善の方向性

本年度は、主催事業として1回のCT・MRI研究会（ゼミ）をオンラインで開催し、安定した運営を実施できた。今後も継続的に開催し、研究支援の場を提供する予定である。

共催事業については、ベーシックRTぐんま会および群馬Gyroユーザーズミーティングの支援および開催を行った。ベーシックRTぐんま会は2回の事前会議と2回の本会を実施し、参加者は約40名と安定した集客が得られた。群馬Gyroユーザーズミーティングについては、ハイブリッド開催の導入により、対面とオンラインの利点を生かした運営が可能となった。特に、オンライン参加者の利便性が向上したため、今後もハイブリッド形式を継続していく方向で検討する。

また、主催事業の研究成果として、JSRT第53回日本放射線技術学会秋季学術大会および第72回関東支部研究発表大会での学術発表を行い、研究会の成果を広く発信することができた。今後も、研究会を通じた臨床研究の支援を強化し、学会発表の機会を増やす。

診療放射線技師継続教育等

担当者／診療放射線学部 ◎渡部教授、林教授、川村准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 本学MRI装置などを用いた講習会の開催
- 2 群馬MR研究会への支援
- 3 MRIに関する他施設との共同研究

2 実施結果

1 MRI技術講習会の開催

10月4日にウェビナーでの講習会を開催した。本会は、MRIに携わる群馬県内外の診療放射線技師を主対象とし「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会である。

- 講演1 「MRI撮像技術 臨床編－中枢神経・脊髄・胸部－」
群馬大学医学部附属病院放射線部 尾崎大輔 先生
- 講演2 「MRI撮像技術 臨床編－腹部・骨盤部－」
前橋赤十字病院放射線科部 長瀬博之 先生
- 講演3 「MRI装置の技術革新：最近の話題」
群馬パース大学医療技術学部 高橋哲彦 先生

2 群馬MR研究会への支援

第259回（10/23）参加者63名の開催を支援した。また第260回を3/19に開催し、参加者は36名であった。

3 事業成果・効果

今年度のMRI講習会は昨年と同様ZOOMを用いたウェビナー形式で開催した。対象はこれからMRIを専門的に扱う若手技師を主とし、内容は「基礎から応用まで幅広く学べる」ものとした。参加者数は県内外から59名、内容・運営ともに好評であった。群馬MRI研究会では円滑な運営になるよう支援を行った。

4 事業の課題及び改善の方向性

MRI講習会は、県内の診療放射線技師のスキルアップの施策として継続していく。群馬MR研究会への支援は、引き続き運営などを支援していく。

群馬県診療放射線技師会講習支援

担当者／診療放射線学部 ◎五十嵐教授、丸山准教授、米持講師

1 事業目的・内容

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師等派遣及び会場提供等
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等
- 4 群馬県診療放射線技師会企画推進部・放射線管理部の講習会開催支援

2 実施結果

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師派遣及び会場提供等：4回開催し、講師派遣16名（延べ）、受講者185名
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等：4回開催し、受講者59名
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等：1回開催し、講師派遣3名、受講者11名
- 4 群馬県診療放射線技師会企画推進部の講習会への講師派遣及び会場提供等：3回開催し、講師派遣1名（延べ）、受講者83名

3 事業成果・効果

2024年4月からはじまった医師の働き方改革に対応するため、多くの研修修了者を送り出せた。また、関連講習会を開催することで、県内診療放射線技師の技術向上を支援できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

令和3年厚生労働省告示第273号研修の開催は終了となるが、引き続き関係団体等と調整をしてスムーズな運営をしていく。

国際化研究支援

担当者／診療放射線学部 ◎林教授、丸山准教授、佐藤(充)講師

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際的視野を身につけ、国際学会発表ができるよう基礎知識を学べる講演、発表会等を実施し、国際学会の紹介や国際学会参加報告も行う。

2 実施結果

第1回国際化研究支援セミナーをオンライン（Zoom）で開催し、本学診療放射線学部教員3名が国際学会参加・発表の経験を共有した。演題準備の具体的方法、英語発表対策、国際学会の特色や現地での交流体験を紹介し、県内診療放射線技師にも広く公開した。

3 事業成果・効果

参加者からは国際発表に対する不安が軽減されたとの意見が多く、将来的な国際学会参加への意欲向上が確認された。国際学会を具体的目標として提示できた点は大きな成果であり、国際的視野の涵養に寄与した。

4 事業の課題及び改善の方向性

今後は講演中心から実践型支援へ発展させる必要がある。英語抄録作成支援や模擬発表会の導入により、国際発表を実現する段階的支援体制の構築を図る。

診療放射線技師核医学研究会

担当者／診療放射線学部 ◎大崎教授、佐藤(充)講師、相良助教

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師を対象に、核医学専門技師の取得を視野に入れた核医学検査に関わる継続的な講習会の機会を提供する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。

- 1 SPECT及びPET装置の最新情報の提供
- 2 核医学及びPETに関わる検査法・技術に関する講習会の開催
- 3 核医学治療に関する講習会の開催
- 4 核医学及びPETの技術的支援による研究推進

2 実施結果

令和7年度研究会を群馬核医学技術研究と共同でZoomと現地開催のハイブリッドで3/17に開催した。参加者は37名で、講演内容は以下の通りである。

- (1) 核医学治療におけるドジメトリの基礎（本学3年生 伊藤駿、荻野司、大沼香太）
- (2) 211Atによる最新核医学治療の現状とQST高崎の役割（石岡典子）

また、211Atの国内普及に向けて、QST高崎量子技術基盤研究所と共同研究を行った。共同研究は、211Atの国内普及に向けた技術検討および獣医学への規制緩和に関わる調査研究を行った。

3 事業成果・効果

核医学治療（前立腺がん治療への適用拡大）やアミロイドPETの保険適用拡大は本県における社会的なニーズが高く、当事業を通して各施設に適切な情報提供が可能となった。本年度は、211Atの共同研究を通して群馬県発の研究で医療の発展に寄与できる基盤を構築できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

核医学治療に関する臨床体制・研究をサポートするべく、さらなる支援を進めていく必要がある。また、核医学専門技師の取得に関する講義の実施やサポートも進める必要がある。核医学に関わる企業の講演も行い、最新の情報提供も行いたい。

公開講座・出前講座

担当者／看護学部 山崎教授、鶴生川准教授、小西講師、塩澤講師、中川講師、山岸助教
診療放射線学部 ◎多鹿准教授、渡部教授、寺下准教授、西村助手

1 事業目的・内容

県民を対象とした公開講座や講演会等の事業を通して、地域の方々に本学の教育と研究の成果を還元する。

1 公開講座

県民を対象とした講座を年度内に2回実施する。感染症等の蔓延の状況に応じて、講演を収録した動画のオンデマンド配信などに切り替えて実施する。

2 出前講座

「出前講座」のメニュー（一覧）をホームページに掲載し、要請に応じて地域団体が主催する集会等へ講師を派遣する。

3 公開授業

「群馬県民の生活と文化」「環境と健康概論」「人間の発達と健康概論」の3科目について実施する。

2 実施結果

1 公開講座

- ・第1回 令和7年8月30日（土）13：00～14：30
演題：あたまの中の小さな形から見る精神神経疾患
講師：本学 看護学部 教授 山崎博幸
参加者数：146名
- ・第2回 令和8年2月14日（土）13：00～14：30
演題：肥満症のサイエンスと最新の治療
講師：群馬大学医学部保健学科 助教 土岐明子
参加者数：80名

2 出前講座

実施回数：62回、参加者合計：2,340名

3 公開授業

参加者数：「群馬県民の生活と文化」2名、「環境と健康概論」0名、「人間の発達と健康概論」0名

3 事業成果・効果

本事業は、県民に本学の教育や研究成果を還元するという目的で、健康に関わる高品位で、ニーズに即した情報を提供する企画を実施している。公開講座は、本学や他大学の研究者を講師として年2回開催し、参加者数は例年通りの100名前後を推移している。実施場所は本学最大の講義室であり、その収容人数に対して適切な参加者数を保っている。出前講座および公開授業は例年と同等の参加者であり、一定の認知度を保っている。本年度は本事業の目的を十分達成できたと考えられる。

4 事業の課題及び改善の方向性

これまで通り本事業では、県民のニーズに沿った地域貢献活動を継続していく。従来の広報様式にとらわれず、紙媒体からインターネットまで、時代に即した活動を柔軟に行い、本学の教育および研究成果をより広く知っていただくよう活動する。

情報発信

担当者／看護学部 ◎狩野教授、櫻井准教授、橋本准教授、浅見講師、丸澤講師、久保講師、
鈴木(峰)助教、高橋(佳)助教、福田助教、三橋助教
診療放射線学部 佐藤(哲)教授、長島准教授、寺下准教授、津野助教、西村助手

1 事業目的・内容

Newsletter、地域貢献活動報告書、リーフレットを発行し、大学や本センターの活動を広く県民に周知する。

- ・地域連携・キャリア開発センターNewsletterを年3回、7月、11月、3月に発行する
- ・2024年度地域貢献活動報告書を編集し、10月初旬に発行する
- ・2025-26年版地域連携・キャリア開発センターリーフレットについては診療放射線学部に関する内容が充実するよう改訂し、センターの役割や活動について県内関係機関へのPRを継続する。

2 実施結果

Newsletterを年3回、7月、11月、3月に発行し、センター事業や公開講座、学生らによる地域ボランティア活動、学生や教員らの学会賞受賞などについて報告した。2024年度地域貢献活動報告書では具体的な活動状況を報告した。地域連携・キャリア開発センター紹介リーフレットについては、掲載内容を精査した後、次年度改訂することとした。

3 事業成果・効果

Newsletterや活動報告書等の発行により、センター事業や、学生・教職員の活躍をPRすることができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

Newsletterについては、次年度各種事業計画の確定が2月中旬以降となったため、案内記事を掲載する3月号の準備にやや遅延が生じた。今後は2次元コードを利用して本学Webページから詳細情報を確認してもらうこととして遅延防止を図りたい。地域貢献活動報告書については、ファイルの提出方法や編集方法を見直した結果、編集担当者の負担を大幅に軽減することができ、短期間でとりまとめ資料を完成することができた。

健康福祉政策・地域連携（健康福祉政策）

担当者／看護学部 ◎飯田教授、狩野教授
診療放射線学部 米持講師、佐藤(充)講師

1 事業目的・内容

群馬県、自治体、他大学、地域住民組織との協働や連携要請への対応、学生ボランティア活動等の推進に取り組む。また、地域関連事業の窓口として機能する。

- 1 感染症・がん疾病対策課と連携による保健福祉事務所等の胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定・相談
- 2 県内の関係施設等からの講師依頼への対応
- 3 新規事業立ち上げ、事業の変更及び終了への対応

2 実施結果

- 1 「群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」
 - ・ 県の担当者と定期的な打ち合わせを実施した。
 - ・ 医療被ばくの線量測定に関する具体的な相談はなかった。
- 2 准看護師再教育集合研修
 - ・ 県医務課の依頼を受け、5月に実施する准看護師再教育集合研修の講師5名について、本学教員・会場等を調整した。
- 3 新規事業への対応
 - ・ 7月の知事講義での知事と学生との交流から、生活子ども部児童福祉課母子保健・障害児支援室と群馬ピアカウンセリング研究会（本学高橋裕子准教授主催、本学ピアサークル学生参加）について意見交換（8/27）がされた。次年度「思春期保健対策事業」が委託される予定である。

3 事業成果・効果

群馬県や他大学との本学教員が主宰する任意団体のボランティア活動等の推進に取り組み、地域関連事業の窓口として機能した。

4 事業の課題及び改善の方向性

群馬県、関連機関と良好な関係を築き、目的に沿う活動を継続できるよう努める。

健康福祉政策・地域連携（地域連携）

担当者／看護学部 ◎高井教授、◎櫻井准教授、大澤(真)教授、中村准教授、久保講師、富永講師、
塩ノ谷講師、鈴木(美)講師、坪井講師、大澤(康)講師、高橋(美)講師、
高橋(佳)助教
診療放射線学部 ◎原教授、大野准教授

1 事業目的・内容

<ボランティア活動>

- ・ボランティアサークルや桃ノ木川を愛する会、リレーフォーライフ健科大ボランティアチーム等の活動を支援し、子育て支援、地域の活性化、環境美化、県内がん対策の推進などの重要課題の解決に向けて学生や教職員が活動しやすい環境を整備する。
- ・ボランティア活動を行う学内団体を支援する。
- ・学生図書企画系の協力を得て、ボランティア募集情報の収集・選別と学生への周知を行う。

<県内他大学との協力・連携>

- ・「めぶく。プラットホーム前橋」への参加
- ・群馬大学主催、群馬県内16大学・高専による「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」への参加
- ・(新規) 群馬県公衆衛生看護学実習等指導者研修会

<地域交流>

- ・桂萱地区健康チェックへの協力支援
- ・桃ノ木小学校町探検活動への協力

2 実施結果

1. 「ボランティア活動」では、大学近隣の地域行事や環境美化活動、子ども向けの体験型イベントやがん対策チャリティーイベント等に学生・教職員がボランティアとして多数参加した。16団体の活動に学生延べ107名が参加した。
2. 「めぶく。プラットホーム前橋」では、前橋地域の人材育成・定着に向けた産学官連携プラットフォームに参画し、市内5大学等と情報交換・共同事業を行った。
3. 「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」では、担当教員が会議に出席し、各大学の取り組みや課題を共有した。また、各機関の連絡窓口の共有や次期会長の選考を行った。
4. 「群馬県公衆衛生看護学実習指導者研修会」では、群馬県及び県内で保健師養成を行う7大学が協力して開催し、保健所・市町村保健師等60人が参加した。
日時：4月21日（月） 13：00～16：30
場所：群馬県市町村会館
5. 「桂萱地区健康チェック」では、下記の日程で、骨密度、体組成（体重、体脂肪、BMI、筋肉量、骨量等）・血圧・血管年齢・肌水分量・血中酸素飽和度の測定を実施した。午前・午後合わせて近隣住民92名が参加した。また、当日の測定会の様子を動画にしてホームページ上で公開した。大学の正式事業な

ので、休日出勤に対する代休取得を実現し、労働環境を整備した。

日時：11月30日（日） 10：00～11：30、13：00～14：30

場所：桂萱公民館

3 事業成果・効果

教職員が協働し、地域行事や多様なイベントへの参加、市内の5大学及び県内看護系7大学等との連携、地域住民の健康チェックの実施により、県内・地域の活性化や地域住民の健康維持・増進に向けた活動ができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

1. 本事業については、大学近隣との情報交換やコミュニケーションを図り、学生・教職員の活動協力に向けた周知とともに、地域住民のニーズに応じた活動やボランティア活動・支援を継続する。
2. 県内他大学や前橋市内の大学等との情報共有や協働とともに、社会のニーズに応じた活動に柔軟に対応する。

健康福祉政策・地域連携（放射線測定協力）

担当者／診療放射線学部 ◎杉野准教授、原教授

1 事業目的・内容

自治体が実施する空間線量率測定への協力と線量評価に取り組む。

- 1 生活環境の放射線とその測定に対する助言を行う（随時）。
- 2 測定器の簡易校正の依頼に対応する（随時）。
- 3 自治体が定期的に実施する空間線量率測定の助言および指導を行うとともに測定結果に基づいて線量評価報告書を作成する。

測定回数は、前橋市 3 回、みどり市 1 回、川場村 1 回を予定している。

- 4 放射線（能）に関する講習会への講師派遣依頼に対応する。

2 実施結果

下記の自治体から提出された空間線量率測定結果について評価し、報告書を作成した。

【前橋市】

- ・測定地点：バイオマス発電施設周辺 4 地点、公園および市役所等 4 地点、赤城山 6 地点
- ・測定回数：バイオマス発電施設周辺、公園および支所等 2 回、赤城山 1 回
- ・公開場所：非公開

【みどり市】

- ・測定地点：桐原グラウンドおよびテント村 2 地点
- ・測定回数：1 回
- ・公開場所：みどり市 HP

【川場村】

- ・測定地点：川場村のキャンプ場、ハイキングコース等 15 地点
- ・測定回数：1 回
- ・公開場所：世田谷区教育委員会

3 事業成果・効果

- ・**前橋市**：バイオマス発電所稼働から 8 年目の測定となった。稼働後の空間線量率を継続的に測定し、バックグラウンドデータを蓄積している。昨年に引き続き、赤城山の空間線量率について評価をしたところ、2011 年事故当初と比較して、変動の大きいところでは約 80% の減衰を確認した。
- ・**みどり市**：2 地点の空間線量率データについてコメントした。コメントはみどり市 HP で公開されている。
- ・**川場村**：キャンプ場、ハイキングコース等 15 地点の空間線量率データから、世田谷区小学 5 年生の移動教室（2 泊 3 日）における外部被ばく線量を試算した。結果と報告書については、世田谷区教育委員会を通して保護者に説明がなされている。

4 事業の課題及び改善の方向性

東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、原発由来の放射性物質に対する県民の不安解消の一助となるよう空間線量率測定を計画し遂行してきた。事故から約 15 年が経つが、自治体から要請がある限り、環境中の放射線および放射能、空間線量率測定等に関わる質問や依頼に対応していく。

健康寿命延伸プロジェクト

担当者／看護学部 ◎宮崎教授、◎佐藤(正)准教授、大澤(真)教授、大澤(康)講師、塩ノ谷講師、鈴木(美)講師、坪井講師、山岸助教

1 事業目的・内容

群馬県民の健康寿命延伸を目指した事業に取り組む。

具体的には、群馬県健康福祉部及び県内市町村等との協働による地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化、調査研究、実践プログラムの企画及び実施、人材育成及び県民に対する健康寿命延伸に関わる知識、技術の普及等、根拠に基づく健康づくり対策を展開する。

1. 小規模町村等支援事業

4月以降、新たに大学として支援を行う小規模町村を募集し、選定された町村の要望を踏まえて支援を行う。

2. 群馬県立ゆうあいピック記念温水プールに関わる事業

施設が実施している健康教室利用者を対象として、心身への影響等について、心理的指標及び生理的指標を用いて検証する。

3. ぐんま元気エクステンションセミナーの開催

出前講座登録時に「健康寿命延伸プログラム」と明示した11講座を「ぐんま元気エクステンションセミナー」として開催する。

2 実施結果

1. 小規模町村等支援事業

- ・大学から支援を行う小規模町村を募集した結果、神流町と昭和村からの応募があり、両町村を支援対象とすることになった。
- ・神流町については、町職員と打ち合わせを行い、データヘルス計画の現状確認等をふまえて健康教室の評価などを主なテーマとして支援を開始した。
- ・昭和村については、村職員の方より検診受診率向上を目的としたポイント制度の機能が不十分であるとの相談があった。今後、支援内容や方向性について共有していく予定である。
- ・榛東村（平成29年より健康づくり推進に関する包括協定あり）については、事業メンバーが健康づくり計画の策定委員、第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定委員、保健師記録の書き方の講習会講師として参画した。また保健事業と介護予防の一体的実施事業の担当保健師の支援、榛東村保健師の人材育成については必要時に相談をさせていただくことになった。

2. 群馬県立ゆうあいピック記念温水プールに関わる事業

令和7年度は、プールが主催する健康測定に4回協力（測定項目：ロコモ度、体組成）し、各回20名程度、計68名の測定を実施した。またプール主催の健康教室に参加した。

3. ぐんま元気エクステンションセミナー

令和7年度の実施件数は32件、参加人数1047人、登録11講座であった。

3 事業成果・効果

小規模町村等支援事業では、2町村に対して支援を開始し、榛東村への支援を継続し、情報の共有や課題の整理、今後の方向性などについて検討することができた。榛東村については保健・福祉分野の計画策定に参加した。小規模町村等支援事業の実施要領策定に伴い、榛東村との協定内容の見直し等について、今後は検討予定である。群馬県立ゆうあいピック記念温水プールでは、健康測定会、健康教室を支援し、利用者の健康増進に向けた活動ができた。さらに、ぐんまエクステンションセミナーを通じ、県民の健康寿命延伸のための活動に取り組むことができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

健康寿命延伸プロジェクトは、県および市町村等の要望に応じて支援を行っている。新たな要望があれば柔軟に対応し、県民の健康寿命延伸に向けた取組みをさらに活発化させていく。

診療放射線技師核医学研究会事業

群馬核医学技術研究会と共同で第2回群馬核医学技術研究会をハイブリッド開催

診療放射線学部 教授 大崎洋充

【概要】

群馬核医学技術研究会は、核医学検査や核医学治療に関わる医療職・教育職・学生が、最新の知識を学び合うことを目的とした研究会です。近年、がん細胞に集まりやすい薬に放射線を出す物質を結合させ、体の中から治療する「核医学治療」が注目されています。治療を安全に行うためには、薬剤を投与するだけでなく、患者さんの体内で薬がどこに、どのくらい集まっているかを画像で確認し、臓器や病変への影響を評価することが重要です。

【実施状況】

令和7年度は、群馬県立県民健康科学大学 地域連携・キャリア開発センターとの共催により、「第2回群馬核医学技術研究会」を開催しました。今回はオンライン配信を活用し、参加費無料で実施しました。基礎講演では「核医学治療に関わる線量評価の基礎技術」をテーマに、核医学治療を安全に進めるための画像評価と線量計算について解説しました。また、特別講演では、量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所の石岡典子先生をお招きし、「 ^{211}At による最新核医学治療の現状とQST高崎の役割」についてご講演いただきました。

【主な講演内容】

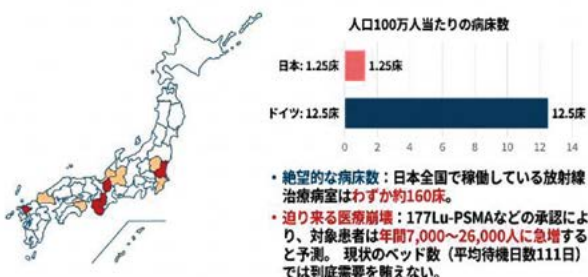
核医学治療では、治療薬が体内に入った後、画像を用いて臓器や腫瘍への集まり方を確認します。そのうえで、画像上で臓器や病変の範囲を正しく設定し、患者さんごとの被ばく線量を推定します。この流れは、治療効果を高めるだけでなく、副作用をできるだけ抑えるためにも重要です。

特に、アスタチン (^{211}At) は次世代の核医学治療で期待される核種の一つであり、群馬県内でその特徴や安全な取り扱い、画像評価、線量評価について理解を深めることは、将来の核医学治療の普及に向けた大切な一歩となります。本研究会では、専門職だけでなく、学生にも理解しやすい内容を意識し、核医学治療を地域で支えるための基礎を共有しました。

【地域貢献としての意義】

群馬県には、核医学診療を担う医療機関に加え、QST高崎量子技術基盤研究所のような研究拠点があります。医療・教育・研究が連携し、核医学治療に関わる知識を共有することは、地域医療の質向上につながります。今後も本研究会を通じて、群馬県における核医学治療の普及と、 ^{211}At を含む新しい治療技術の標準化に向けた人材育成を進めていきます。

日本が直面するインフラの壁：圧倒的な「RI治療病床」不足



核医学診療・治療におけるセグメンテーションの基礎と臨床的意義 ～手動描出からAI・線量評価への応用～

- 核医学画像におけるセグメンテーションの基本概念
- 内部被ばく線量評価 (Dosimetry) への直結と課題
- 最新AIツールと妥当性検証の応用





ごあいさつ

4月から地域連携・キャリア開発センター長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

2012年に開設した本センターは、大学の知的財産・研究成果等の活用や関係機関・関係者の方々との協働により、県民の皆様の健康に貢献することを目的に活動しております。

今年度は15の事業に取り組む計画です。【専門職向け事業】は、「看護学教員養成課程」「看護師特定行為研修課程」の2つの課程、群馬県からの委託による「看護学実習指導者養成講習会」、職能団体との協働による「群馬県診療放射線技師会講習支援」、病院や他大学との連携、医療職等への研究支援、小規模町村への支援などです。【県民向け事業】は、「公開講座・出前講座」、ボランティアなどです。

県民の皆様の健康及び保健・医療・福祉の向上にむけて、センター事業をご活用いただけますようお願い申し上げます。

URLまたは二次元コードより事業紹介をご覧ください <https://www.gchs.ac.jp/cooperation>



地域連携・キャリア開発センター長
飯田 苗恵



活動報告

【第2回 公開講座を実施しました】

テーマ：3Dイメージング—身近なものから最新のものまで—

講師：診療放射線学部 准教授 多鹿 友喜



令和7年2月15日に、3Dイメージングの身近なものから最新のものまでに関して、第2回公開講座が実施され、県内外から幅広い世代の方々にご参加いただきました。参加者の皆さまからは、「身近なものを使った説明で分かりやすく、話に入り込みやすかった」「知らない世界の話で大変面白かった」「興味深く学べる機会が頂けてとても魅力的でした」「最先端の技術を知ることができた」など好評を頂きました。



【放射線測定協力事業の紹介】

診療放射線学部 准教授 杉野 雅人

2011年に起きた福島第一原子力発電所での水素爆発事故の後、本学には多くの自治体から環境放射線測定、空間線量率および健康への影響等についての問い合わせがあり、診療放射線学部の教員がその対応にあたりました。事故から14年が経過した現在もなお、通常時における空間線量率データの蓄積と地域住民の方々に安全と安心を提供するために、前橋市、みどり市、川場村の3つの自治体が定期的に空間線量率を測定しており、本事業ではその測定値に対しての評価と報告書の作成を行っています。



写真：大室公園（前橋市）での空間線量率測定風景 [提供：前橋市役所環境部環境政策課]

報告

【ピアサークルの活動報告】

3月24日開催 2024年度日本女性財団 第1回群馬プラットフォーム連絡会

「未来の自分へ送る自分らしく生きるためのヒント」というテーマで第1回群馬プラットフォーム連絡会が開催されました。本学ピアサークルのメンバーが、企画・運営を日本女性財団と連携して行い、当日はファシリテーターとして活躍しました。中高生、大学生、若者の支援者約80名が参加し、活気あふれる有意義な時間となりました。



【ボランティアサークルの活動報告】

5月11日開催 第41回桂萱地区のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場

前橋市桂萱地区で、毎年恒例の『のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場』が開催され、本学ボランティアサークルの学生22名が参加し、バルーンアートブースを出展しました。地域の子供達は学生ボランティアの説明を聞きながら、犬や花、剣などを自分たちで作り、楽しいひとときを過ごしました。



【大学院診療放射線学研究科学生の学会賞受賞】

診療放射線学研究科博士前期課程1年の菅原拓巳さんが今年の2月に開催された第62回群馬放射線腫瘍研究会において、研究成果を発表し、優秀演題賞を受賞しました。



2年ぶりに日本一！ 2024年度 国家試験合格率100%

今年2月に実施された第111回保健師国家試験、第114回看護師国家試験、第77回診療放射線技師国家試験について3月21日・24日に合格発表があり、本学からの受験者は、見事全員合格致しました。全国の新卒者平均合格率は、保健師国家試験で96.4%、看護師国家試験で95.9%、診療放射線技師国家試験で92.2%でした。

2年ぶりに両学部とも、**日本一の合格率**です。3月25日に挙行された卒業式では、山本一太 群馬県知事から情熱に満ちた祝福とお褒めの言葉をいただき、卒業生達の笑顔が輝きました。

17期生の栄誉をたたえ、玄関ホールに垂れ幕を掲げています



公開講座

- 【テーマ】あたまの中の小さな形から見る精神神経疾患
- 【日時】令和7年8月30日(土) 13:00~14:30
- 【会場】群馬県立県民健康科学大学 大講義室
- 【講師】群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 山崎 博幸
- 【申込方法】詳細は本学ホームページをご覧ください。

お知らせ

OPEN CAMPUS 2025

8月8日(金)・9日(土)にオープンキャンパスを開催します！

対象：高校生、受験生、ご家族

内容：学部説明会、模擬講義・演習、施設見学、個別相談等

申込：7月上旬よりWeb受付開始予定 *詳細は随時ホームページでお知らせします。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL:<http://www.gchs.ac.jp/>



【OPEN CAMPUS 2025】を開催しました

8月8日（金）・9日（土）にオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生及び保護者1,567名の皆さんにご参加いただきました。

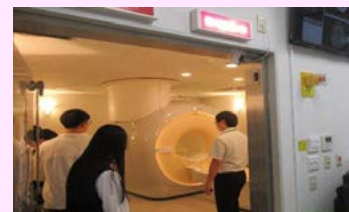
当日は、学部説明会、個別相談会、在学生との交流会、模擬授業、模擬演習体験、動画上映、専門領域の紹介、MRI室・CT室の見学、放射線の観察など、様々なプログラムを準備いたしました。

参加された高校生の皆さんからは「受験対策談や学生生活のリアルな声を学生さんから直接聞いて参考になった」「模擬演習や体験が楽しかった」などの感想をいただき、特に、在学生の交流会と模擬授業、模擬演習体験は大好評でした。また、「大学全体の雰囲気がアットホーム」「学生がいきいきしている印象が良い」などのお声もいただき、大学の雰囲気も感じ取っていただけたようです。

猛暑の中での開催となりましたが、オープンキャンパスにご参加くださった高校生の皆さんにとって、今後の進路を考える上で参考となる機会にさせていただけたようです。



看護学部 模擬演習体験



診療放射線学部 MRI室の見学

活動報告

【第1回 公開講座を実施しました】

テーマ：あたまの中の小さな形から見る精神神経疾患

講師：看護学部 教授 山崎 博幸



8月30日に精神神経疾患をテーマとした公開講座を開催いたしました。当日は146名の方にご参加いただきました。講座では、脳の神経細胞にあるスパインと精神神経疾患に関する研究成果などについて紹介がありました。参加された方からは、「脳の不思議に触れて興味が深まった」「精神神経疾患の研究によって、新しい薬が開発されることに希望を持てた」など、多くの感想を寄せていただき、テーマへの関心の高さが感じられました。



【看護職研究支援事業の紹介】個別支援成果報告・相談会を開催しました

本事業は、本学が所有する知的財産や研究成果を活用し、県内の看護職者の研究能力の向上に寄与することを目的として、群馬県内の看護職者の皆さんの研究活動を支援する事業です。今年度はオンデマンド配信を中心とした計3回の看護研究セミナーを実施しました。5月24日には、対面での文献検索演習と令和5～6年度に看護研究個別支援を受講された2組の方から個別支援成果報告会として、支援の経過や研究内容を発表していただきました。報告会は和やかな雰囲気の中で進行し、活発な意見交換が行われました。



受賞報告

【ピアサークルの学生が「日本女性財団主催 女性支援・Well-being AWARD 2025」で活動賞を受賞しました！】

思春期の生徒を対象に寄り添いながら、生＝性の健康をテーマにした活動を継続していることが高く評価され、ブルーエメラルド（女性支援）部門・活動賞を受賞しました。ピアサークルは高崎健康福祉大、桐生大学のメンバーとともに、群馬ピアカウンセリング研究会メンバーとして活動しています。



群馬ピアカウンセリング研究会の皆さん



診療放射線学部4年生
伏島しずくさん、指導教員
の丸山 星 准教授

【診療放射線学部学生が学会大会長賞を受賞しました！】

2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会において、診療放射線学部4年生の伏島しずくさんが、この学会における学生発表の中で最も優れた演題に贈られる賞である大会長賞を受賞しました。

【看護学研究科生が奨励論文賞を受賞しました！】

看護学研究科博士後期課程の飯塚瑞季さんが、日本地域看護学会第28回学術集会において2024年奨励論文賞を受賞しました。



看護学研究科
飯塚瑞季さん

ボランティア活動報告

【第51回 ホリデーインまえばし】

去る8月24日に前橋敷島公園で開催された同イベントにボランティアサークル（代表 看護学部3年 猪野 愛莉さん）の学生と教員18名で参加し、オリジナル缶バッジコーナーを出展しました。38度を越える猛暑の中、家族連れなど548名が参加してくれました。一生懸命に描いたキャラクターや動物などの絵が「自分だけの缶バッジ」に仕上がると子どもたちの笑顔が輝き、学生メンバーたちも笑顔で子どもたちとの交流を楽しんでいました。



仕上がりを待つ子どもたち



ボランティアサークルの皆さん

【桃の木リバーを愛する会】

桃の木リバーを愛する会（代表 診療放射線学部3年 山上 敦司さん）は、NPO法人桃ノ木川を愛する会から提供を受けた花の苗植えや草刈り等、桃の木川周辺の美化活動を行うボランティアサークルです。今年はサークルメンバーほか22名で、6月18日に桃の木川周辺の花壇に花植えを行いました。かわいい花たちが、通勤・通学やお散歩中の皆さんの目を楽しませています。



年3回、桃の木川の美化活動をしています

お知らせ

◆◆◆ 出前講座を実施しています ◆◆◆

本学の教員を、地域や団体の集会に講師として呼んでみませんか？

県民健康科学大学では、皆さんの健康や生活、医療従事者の業務に役立つ様々な講座をご用意しています。令和7年度の講座メニューは30テーマで、講師の派遣は無料です。各教員の専門知識を生かしつつ、県民の皆さんにとって分かりやすい説明や体験を盛り込んだ有意義な講座を実施しますので、ご活用ください。

* URLまたは二次元コードより詳細をご覧ください



発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp>



活動報告

**【2025年度群馬放射線治療技術研究会・第1回医学物理学講演会を開催しました！】
12月13日(土)**

県内の放射線治療施設を中心に33名の皆様にご参加いただき、第1回医学物理学講演会を開催しました。前半は本学津野助教による特別講演、後半は県内4カ所の放射線治療施設から講師をお招きして日々の臨床業務で留意している固定具作成のポイント等を講演と実演の形式でご紹介いただきました。特に実演においては活発な意見交換が行われ、大変有意義な講演会となりました。


【桂萱公民館で骨密度測定会を実施しました】11月30日(日)

桂萱公民館にて、毎年恒例の骨密度測定会を開催しました。当日は、地域の皆さんに多数ご参加いただき、骨粗鬆症の早期発見に役立つ骨密度測定や血圧、血管年齢、体組成などの測定を行いました。当日の様子を動画でご紹介していますので、右記の二次元コードからは是非ご覧ください。


【看護学教員養成課程第2回公開授業を開催しました】2月3日(火)

看護学教員養成課程受講生による公開模擬授業を開催しました。当日は県内外の大学や看護専門学校、病院等から32名の皆様にご参加いただきました。グループごとの模擬授業の後、松田教授の進行によるアフターセッションが行われ、参加者も交えたディスカッションを通して学びを深める大変貴重な時間となりました。参加者からは「実際に演習を見学し、自分に求められる役割がよく見えてきた」等の感想が寄せられました。



公開講座報告

【第2回公開講座を開催しました】2月14日(土)

群馬大学大学院保健学研究科の医師、土岐明子先生を講師にお招きし、肥満症に関する最新の医学研究成果や治療に関する講演会を開催しました。肥満症に対する正しい理解の重要性と多方面からのサポートの必要性が呼びかけられました。県内外より80名の参加者があり、講演後は参加者と講師の間で活発な質疑応答が行われました。次回の公開講座は2026年夏(テーマ選定中)の開催を予定しています。詳細は、本学ホームページ、公式Instagram、県施設に配布のリーフレットなどでお知らせします。



←公開講座のご案内はこちら

学生の活動報告

【桃ノ木川美化活動を実施しています】5月・8月・11月

学生のボランティアサークル、桃ノ木リバーを愛する会は毎年3回本学南側の桃ノ木川で環境美化活動を実施しています。学生たちの活動の様子を動画でご紹介していますので、ぜひご覧ください！



学生の活動報告

【リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんま】10月11日(土)-12日(日)

会場：ALSOKぐんま総合スポーツセンター（前橋市）

がんの予防・早期発見やがん医療および患者支援の充実などを目的としたチャリティーイベントに学生・教職員31名が参加しました。本学チームはチャリティーくじコーナーの運営やドリンク販売、会場運営などのボランティア活動に従事したほか、禁煙やがん検診を呼びかける横断幕を掲げて会場を歩きました。



【ピアサークルの学生が群馬県との共催イベントを開催】11月29日(土)

会場：臨江閣（前橋市）



群馬県との共催イベント「自分らしく生きるために健康な未来を切り開け～子宮頸がんから自分を守るための第一歩～」が開催されました。本イベントは、若年層を対象とした子宮頸がん予防の啓発を目的として行われました。当日は、中学生から大学生、その保護者の方まで幅広い世代の方々が参加し、和やかな雰囲気の中で将来や健康について考え、自身のこれからを見つめるひとときとなりました。

学生の活躍

【診療放射線学部学生の学会賞受賞】

診療放射線学部4年の都丸 瑚雪さんおよび堀越 百桃さんの2名が12月に開催された第72回日本放射線技術学会 関東支部研究発表大会において、学生セッションにおける研究発表で学生優秀発表賞および学生発表奨励賞を受賞しました。



【第1種放射線取扱主任者試験に15名が合格】

診療放射線学部3年生を中心に2年生を含む計15名が第1種放射線取扱主任者試験に合格しました。放射線取扱主任者は、放射線安全管理の統括責任者が所持すべき国家資格であり、3種類の資格（第1種、第2種、第3種）の中で第1種が最も難度が高い資格となります。

お知らせ

◆令和8年度 無料講座・無料セミナーのご案内

〔看護研究セミナー〕*

【対象者】 群馬県内の保健医療関係職の方

- 【内容】 第1回「看護研究のための文献検索と文献検討」
第2回「看護研究計画書の作成」
第3回「看護研究における倫理と手続き」

〔個別支援成果報告・相談会〕

開催日時：5月23日（土）11時30分～12時30分（対面開催）

〔公開授業〕前期開講3科目を県民のみなさんに公開しています。（無料・要申込）

〔出前講座〕健康に関する内容や医療従事者の業務に役立つ講座を用意しています。

〔大学教員による相談・支援事業〕

群馬県内の医療機関等を対象に、医療機関等が抱える看護実践上の課題の解決を目的に、大学教員（老人看護専門看護師、がん看護専門看護師の資格を有する等の職員）の派遣による相談・支援事業を行います。（無料・要申込）

支援期間：令和8年7月～令和9年3月 *年間3件程度の支援を予定しています

*オンデマンド配信

第1回～第3回の内容

配信期間：5/1（金）～7/31（金）



詳細は本学
HPをご覧ください。

Ⅱ

その他の 地域貢献活動

学会活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	日本看護科学学会 和文誌専任査読 委員	日本看護科学学会	令和7年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本在宅看護学会 研究倫理委員会 副委員長	日本在宅看護学会	令和7年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 代議員	日本難病看護学会	令和7年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会教育推進委員会委員	日本難病看護学会	令和7年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 編集委員会 委員	日本難病看護学会	令和7年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	難病看護オンラインセミナー「神経難病療養者の排泄障害とケア」ファシリテーター	日本難病看護学会教育推進委員会	令和7年7月19日	Web	看護職等	約160名
教授	飯田 苗恵	難病看護オンラインセミナー「最新！神経難病患者のコミュニケーション支援と看護」ファシリテーター	日本難病看護学会教育推進委員会	令和8年3月14日	Web	看護職等	約160名
教授	大澤真奈美	日本産業衛生学会 代議員	日本産業衛生学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 研究倫理審査委員会委員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌編集委員会委員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 代議員	日本地域看護学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会誌 査読委員	日本地域看護学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 第29回学術集会企画委員	日本地域看護学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会 代議員	日本公衆衛生看護学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会誌 査読委員	日本公衆衛生看護学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本ルーラルナース学会誌 査読委員	日本ルーラルナース学会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	日本看護学会学術集会 抄録査読委員	日本看護協会	令和7年度			
教授	大澤真奈美	千葉看護学会誌 専任査読者	千葉看護学会	令和7年度			
教授	狩野 太郎	群馬県がん看護研究会理事 地域貢献活動担当	群馬県がん看護研究会	令和7年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和7年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 ガイドライン委員会委員	日本がん看護学会	令和7年度		看護師	
教授	行田 智子	日本看護研究会専任査読委員	日本看護研究会	令和7年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本助産学会専任査読委員	日本助産学会	令和7年度	—	日本助産学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究会学術集会誌 査読委員	日本看護研究会	令和7年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究会第52回学術集会企画委員	日本看護研究会	令和7年度	—	日本看護研究学会員	
教授	服部 美香	日本看護教育学会 理事	日本看護教育学会	令和7年度			
教授	服部 美香	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	服部 美香	日本看護教育学会 評議員	日本看護教育学会	令和7年度			
教授	服部 美香	日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	令和7年度			
教授	服部 美香	日本看護教育学会第34回学術集会企画・実行委員	日本看護教育学会	令和7年1月～令和8年10月	群馬	看護職者	約300名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	服部 美香	日本看護教育学会第35回学術集会 座長	日本看護教育学会	令和7年8月30日	日本赤十字北海道看護大学	看護職者	
教授	廣瀬規代美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和7年度			
教授	廣瀬規代美	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和7年度			
教授	廣瀬規代美	日本看護研究学会 評議員	日本看護研究学会	令和7年度			
教授	廣瀬規代美	日本看護研究学会第52回学術集会企画委員	日本看護研究学会	令和7年度			
教授	廣瀬規代美	群馬がん看護研究会 理事兼教育委員会委員長	群馬がん看護研究会	令和7年度		看護職者等	
教授	山下 暢子	日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	令和7年度			
教授	山下 暢子	日本看護教育学会 第34回学術集会企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和7年1月～10月	群馬	看護職者	約300名
教授	山下 暢子	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和7年度			
准教授	上山 真美	日本プライマリ・ケア連合学会 編集委員会委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和7年度	Zoom、メール等	-	-
准教授	上山 真美	日本老年泌尿器科学会 評議員	日本老年泌尿器科学会	令和7年度	東京	-	-
准教授	上山 真美	日本看護リハビリテーション学会査読委員	日本看護リハビリテーション学会	令和7年度	メール等	-	-
准教授	上山 真美	日本創傷・オストミー・失禁管理学会査読委員	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	令和7年度	メール等	-	-
准教授	上山 真美	高齢者排尿ガイドライン作成チームメンバー	日本看護科学学会	令和7年度	Zoom、メール等	-	-
准教授	上山 真美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和7年度	対面等	-	-
准教授	上山 真美	看護師部会 看護学生・看護師キャリア支援部門委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和7年度	Zoom、メール等	-	-
准教授	上山 真美	第38回日本老年泌尿器科学会 座長	日本老年泌尿器科学会	令和7年7月12日	東京	学会参加者	-
准教授	櫻井 美和	専任査読	日本小児看護学会	令和7～8年度			
准教授	櫻井 美和	専任査読	千葉看護学会	令和7～8年度			
准教授	櫻井 美和	第36回日本小児看護学会学術集会演題査読	日本小児看護学会	令和8年2月～3月			
准教授	高橋 裕子	編集委員	日本看護教育学会	令和7年度	-	-	-
准教授	高橋 裕子	評議委員	日本看護教育学会	令和7年度	-	-	-
准教授	高橋 裕子	理事	ぐんま思春期研究会	令和7年度	-	-	-
准教授	高橋 裕子	日本看護教育学会第34回学術集会企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和7年8月24日	前橋	看護職者	約300名
准教授	高橋 裕子	第33回関東甲信越性教育研究大会群馬大会『生・性・声 思春期に寄り添うーその生きづらさの背景と支援のヒントを探るー』	ぐんま思春期研究会	令和7年11月16日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者・医師 看護教諭等	約140名
准教授	橋本 晴美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和7年度			
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	令和7年度			
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和7年度			
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 第40回日本がん看護学会学術集会抄録査読委員	日本がん看護学会	令和7年度			
准教授	橋本 晴美	群馬がん看護研究会 地域貢献委員	群馬がん看護学会	令和7年度			
講師	垣上 正裕	日本看護教育学会 第34回学術集会企画委員(会場係)	日本看護教育学会	令和7年8月24日	前橋	看護職者	

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
講師	垣上 正裕	日本看護教育学会 第34回学術集会 企画委員(会議運営係)	日本看護教育学会	令和7年8月24日	前橋	看護職者	
講師	河内 直美	日本看護教育学会第34回学術集会	企画委員	令和7年度	前橋	看護職者	292名
講師	久保 仁美	日本小児看護学会査読委員	日本小児看護学会誌	令和7年度		大学教員、医師、助産師、 看護師、看護教員など	
講師	塩澤 麻子	第33回関東甲信越性教育研究大会群馬大会 実行委員	ぐんま意思春期研究会	令和7年度	群馬		
講師	富永 明子	日本看護教育学会 理事	日本看護教育学会	令和7年度			
講師	富永 明子	日本新生児看護学会 評議員	日本新生児看護学会	令和7年度			
講師	富永 明子	日本新生児看護学会 編集委員	日本新生児看護学会	令和7年度			
講師	富永 明子	日本看護教育学会第34回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和7年1月～ 令和7年10月	群馬	看護職者	約300名
講師	湯澤香緒里	日本看護教育学会第34回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和7年度	群馬	看護職者	約300名
講師	和田 卓磨	令和7年度定例会 機器設置調整担当	日本看護教育学会	令和7年4月～令和 8年3月 (年間8回開催)	群馬・千葉・東京	看護職者	約30名
講師	和田 卓磨	第34回学術集会企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和7年8月24日～ 9月12日 (オンデマンド配信期間含む)	群馬・オンライン	看護職者・看護学生	約300名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	五十嵐 博	令和7年度 群馬県がん検診エックス線線最 影従事者講習会の運営	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和7年9月2日、 10月14日、11月11日、 12月2日	本学 公益財団法人群馬県 健康づくり財団	診療放射線技師	延59名
教授	五十嵐 博	日本放射線カウンセリング学会 理事	日本放射線カウンセリング学会	令和7年度	－	診療放射線技師	－
教授	五十嵐 博	群馬県診療放射線技師会 会長	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和7年度	－	診療放射線技師	－
教授	五十嵐 博	日本診療放射線技師会 代議員・医療福祉安全管理委員・ 放射線被ばく相談員分科会長・会誌査読委員・認定資格委 員・地域委員会(全国地域連絡協議会/地域理事会議) 委員	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年度	－	診療放射線技師	－
教授	五十嵐 博	日本医療マネジメント学会 群馬県支部幹事	日本医療マネジメント学会群馬県支部	令和7年度	－	県内医療従事者	－
教授	五十嵐 博	大山人間科学研究会 理事長	大山人間科学研究会	令和7年度	－	心理学研究者等	－
教授	五十嵐 博	公益財団法人群馬県健康づくり財団 評議員	公益財団法人群馬県健康づくり財団	令和7年度	－	－	－
教授	五十嵐 博	群馬県CT・MRI研究会 世話人	群馬県CT・MRI研究会	令和7年度	－	医師・診療放射線技師	－
教授	五十嵐 博	群馬放射線腫瘍研究会 世話人	群馬放射線腫瘍研究会	令和7年度	－	医師・診療放射線技師・ 看護師・医学物理士	－
教授	五十嵐 博	群馬放射線治療技術研究会 副代表幹事	群馬放射線治療技術研究会	令和7年度	－	診療放射線技師・ 医学物理士	－
教授	佐藤 哲大	電子情報通信学会和文論文誌D査読委員	電子情報通信学会	令和7年度	本学	投稿論文	

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 編集委員会 副編集委員長	日本放射線技術学会	令和7年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 RPT 編集委員会 編集委員および副編集長	日本放射線技術学会	令和7年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 代議員	日本放射線技術学会	令和7年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 学術推進員	日本放射線技術学会	令和7年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会 常務理事	医用画像情報学会	令和7年度			
教授	林 則夫	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT) Annual Meeting Program Committee (AMPC) 委員	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT)	令和7年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR研究会	令和7年度			
教授	林 則夫	研究会 顧問	群馬Gyro Users Meeting	令和7年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬CTMRI研究会	令和7年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR医学研究会	令和7年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会雑誌 副編集委員長	医用画像情報学会	令和7年度			
教授	渡部 晴之	医用画像情報学会 理事	医用画像情報学会	令和7年度			
教授	渡部 晴之	第12回コニコミノルタ科学技術振興財団助成事業深層学習実践セミナー運営・講師	医用画像情報学会	令和7年度	前橋 オンライン	大学教員、放射線 技師、学生	35名
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会査読者	日本診療放射線技師会	令和7年度	-	-	-
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会臨床実習指導教育委員会委員	日本診療放射線技師会	令和7年度	Web	-	6名
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会 臨床実習指導教員分科会委員	日本診療放射線技師会	令和7年度	Web	-	7名
准教授	川村 拓	Radiological Physics and Technology 誌査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和7年度	-	-	-
准教授	川村 拓	研究会 幹事	群馬MR研究会	令和7年度	-	-	-
准教授	川村 拓	研究会 世話人	群馬Gyro Users Meeting	令和7年度	-	-	-
准教授	杉野 雅人	日本保健物理学会教員等協議会委員	日本保健物理学会	令和7年度	-	-	24名
准教授	丸山 星	群馬県診療放射線技師会 理事	群馬県診療放射線技師会	令和元年8月22日～ 令和7年度	-	大学教員等	
准教授	丸山 星	日本放射線技術学会 標準・規格委員会 ワーキンググループ委員	日本放射線技術学会	令和7年度			
准教授	丸山 星	日本放射線技術学会 計測部会委員会 診断領域線量計標準センター班	日本放射線技術学会	令和7年度			
准教授	丸山 星	日本放射線技術学会 学術委員会 若手による若手の研究参画促進に関する検討班	日本放射線技術学会	令和7年度			
准教授	丸山 星	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	令和7年度			
准教授	丸山 星	第81回日本放射線技術学会総会学術大会 座長(画像工学(CT))	日本放射線技術学会	令和7年4月13日	パシフィコ横浜	大学教員、診療放 射線技師、学生	約100名
准教授	丸山 星	第53回日本放射線技術学会秋季学術大会 座長(計測(線量評価・防護))	日本放射線技術学会	令和7年10月17日	札幌コンベンション センター	大学教員、診療放 射線技師、学生	約100名

II-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	丸山 星	第2回若手研究支援フォーラム 座長(若手研究計画プレゼンテーション)	日本放射線技術学会	令和7年10月17日	Web	大学教員、診療放射線技師、学生	約50名
准教授	丸山 星	日本放射線技術学会雑誌 論文特集号「腹部領域」エディタ	日本放射線技術学会	令和7年度			
准教授	丸山 星	Radiological Physics and Technology 誌 査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和7年度	-	4編	
准教授	丸山 星	日本放射線技術学会雑誌 査読者	日本放射線技術学会	令和7年度	-	1編	
准教授	丸山 星	医用画像情報学会雑誌 査読者	医用画像情報学会	令和7年度	-	1編	
准教授	丸山 星	Quantitative Imaging in Medicine and Surgery 誌 査読者	AME Publishing Company	令和6年度	-	2編	
准教授	丸山 星	INQUIRY 誌 査読者	Sage Journals	令和6年度	-	1編	
講師	佐藤 充	医用画像情報学会、コニカミノルタ科学技術振興財団助成事業 深層学習実践セミナー 講師	医用画像情報学会	令和7年12月13日	群馬	大学教員、診療放射線技師、研究者	約40名
講師	米持 圭太	日本診療放射線技師会 教育委員	日本診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会 常務理事・教育部長	群馬県診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県庁診療放射線技師会 地区幹事	群馬県庁診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬核医学研究会 世話人	群馬核医学研究会	-	-		
講師	米持 圭太	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 プログラム委員(世話人兼務)	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	-	-		
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(令和7年度) 企画・運営・講師	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年4月20日	群馬	診療放射線技師	11名
講師	米持 圭太	第39回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 企画	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	令和7年4月25日	群馬	診療放射線技師 医師・診療放射線技師	約30名 約50名
講師	米持 圭太	第74回群馬核医学研究会 企画	群馬核医学研究会	令和7年5月20日	Web		
講師	米持 圭太	第33回群馬CT研究会 企画	群馬CT研究会	令和7年6月26日	群馬	診療放射線技師	40名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(令和7年度第1回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年7月26日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(令和7年度第2回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年7月26日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	第41回日本診療放射線技師学術大会 核医学2(基礎・検討)座長	日本診療放射線技師会 福井県診療放射線技師会	令和7年9月13日	福井	診療放射線技師	約600名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会創立75周年記念式典 企画・運営スタッフ	群馬県診療放射線技師会	令和7年11月15日	群馬	診療放射線技師	70名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(令和7年度第3回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和8年1月24日	群馬	診療放射線技師	48名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(令和7年度第4回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和8年1月25日	群馬	診療放射線技師	45名
講師	米持 圭太	群馬県庁診療放射線技師会 第29回学術部研究発表会 第2セッション座長	群馬県庁診療放射線技師会	令和8年3月14日	群馬	診療放射線技師	40名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
助教	津野 隼人	広報委員	放射線治療品質管理士認定機構	令和7年度	神奈川		
助教	津野 隼人	ICRPT 4rd 演題倫理審査委員	日本医学物理学会、日本放射線技術学会	令和7年度	神奈川		
助教	津野 隼人	ICRPT 4rd 座長	日本医学物理学会、日本放射線技術学会	令和7年度	神奈川		
助教	津野 隼人	査読者	日本放射線技術学会	令和7年度			
助教	津野 隼人	査読者	Radiological Physics and Technology	令和7年度			
助教	津野 隼人	査読者	Medical Physics	令和7年度			
助教	津野 隼人	査読者	Journal of Applied Clinical Medical Physics	令和7年度			
助教	津野 隼人	査読者	Radiation Protection Dosimetry	令和7年度			
助教	津野 隼人	北海道放射線治療技術研究会 運営	北海道放射線治療研究会	令和7年度	札幌	診療放射線技師、 医学物理士	約80名
助教	津野 隼人	北海道放射線治療研究会 世話人	北海道放射線治療研究会	令和7年度			
助教	津野 隼人	北海道放射線治療ひよこ会プログラム委員	北海道放射線治療ひよこ会 (後援：函館放射線技師会)	令和7年度			
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、運営	東京放射線治療技術研究会	令和7年度	東京	診療放射線技師、 医学物理士	約30名
助教	津野 隼人	東京・神奈川合同放射線治療技術セミナー、座長	東京都放射線治療技術研究会・神奈川県放射線治療技術研究会	令和7年度	八王子	診療放射線技師、 医学物理士	約40名
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、座長	東京都放射線治療技術研究会	令和7年度	東京	診療放射線技師、 医学物理士	約30名
助教	津野 隼人	世話人	東京放射線治療技術研究会	令和7年度	東京		
助教	津野 隼人	監事	東京放射線治療技術研究会	令和7年度	東京		
助教	津野 隼人	幹事	群馬放射線治療技術研究会	令和7年度	群馬		
助教	津野 隼人	セットアップマージンの解析のススメ	日本放射線技術学会、放射線治療部会	令和7年4月	神奈川	診療放射線技師、 医学物理士	約400人
助教	津野 隼人	もう一度見直そうMU計算～標準から応用まで～	東京放射線治療技術研究会	令和7年8月	東京	診療放射線技師、 医学物理士	約30人
助教	津野 隼人	マージン設定の根拠がわかる不確かさの基本	日本診療放射線技師会	令和7年9月	WEB	診療放射線技師、 医学物理士	約200人
助教	津野 隼人	マージン算出前に知っておきたい統計のポイント	日本診療放射線技師会	令和7年9月	WEB	診療放射線技師、 医学物理士	約200人
助教	津野 隼人	がん放射線治療における深さスケーリングについて	日本放射線技術学会、関東支部	令和7年11月	WEB	診療放射線技師、 医学物理士	約600人
助教	津野 隼人	固定員作成時に意識したい位置変位とマージンの考え方	群馬放射線治療技術研究会	令和7年12月	群馬	診療放射線技師、 医学物理士	約40人

一般住民・団体対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	茨川市認知症サポーターステップアップ研修講師	茨川市地域包括支援センター	令和7年10月2日、29日	茨川市子持社会体育館 会議室	住民	約20名
教授	狩野 太郎	フレイルを予防し健康寿命を延ばして充実した生活を送ろう!	吉岡町・よしおか健康推進協議会	令和7年12月7日	吉岡町保健センター	よしおか健康推進協議会会員	約50名
准教授	高橋 裕子	思春期ピアカウンセラー養成セミナー(前期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和7年6月21、22、28、29日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
准教授	高橋 裕子	思春期ピアカウンセラー養成セミナー(後期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和8年2月21、22日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
講師	樋口 友紀 福島 昌子	「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	大泉町社会福祉協議会	令和7年9月24日	大泉町第5区公民館	住民	約30名
講師	樋口 友紀 福島 昌子	「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	大泉町社会福祉協議会	令和7年12月23日	大泉町坂田西公民館	住民	約30名
講師	樋口 友紀 福島 昌子	「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	大泉町社会福祉協議会	令和8年2月4日	大泉町丘山公民館	住民	約30名
助教	山岸 昌平	上田市職員向けゲートキーパー養成研修会	上田市役所健康推進課	令和7年8月26日	上田市役所	行政職員	約60名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	原 孝光	身近な放射線	樹徳高校	令和7年4月30日	樹徳高校	高校2、3年生	30
教授	原 孝光	進路説明	栃木県立佐野高校	令和7年5月30日	佐野高校	高校2、3年生	4名
教授	原 孝光	進路説明	栃木県立足利高校	令和7年6月10日	栃木県立足利高校	高校2、3年生	10名
教授	原 孝光	進路相談	桐生高校	令和7年6月19日	美喜仁桐生文化会館	高校3年生	27名
教授	原 孝光	進路相談	前橋西高校	令和7年7月17日	前橋西高校	高校2、3年生	7名
教授	原 孝光	進路相談	さんぽう	令和8年3月6日	Gメッセ	高校生	
准教授	川村 拓	臨床実習指導指針改定と学習項目例示	第41回日本診療放射線技師学術大会	令和7年9月12日	AOSSAレクリエーションルームAB 群馬大学医学部 附属病院	診療放射線技師	約30人
講師	佐藤 充	日本核医学技術学会、第42回日本核医学技術学会関東地方会総会 運営活動	学術副委員長	令和7年度		-	-
講師	佐藤 充	群馬県核医学技術懇話会 運営	実行委員	令和7年度		-	-
講師	佐藤 充	群馬県診療放射線技師会、創立75周年記念式典 運営	運営担当	令和7年度	前橋商工会議所	診療放射線技師	約100名
講師	佐藤 充	第8回 群馬県臨床検査技師会群馬県放射線技師会合同勉強会、群馬県診療放射線技師会企画推進部 勉強会運営	運営担当	令和7年度	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師、臨床検査技師	約100名
助教	津野 隼人	お仕事をするために必要なコミュニケーション～院内で求められる問題解決能力を伸ばすエッセンス	高崎経済大学	令和7年12月18日	高崎経済大学附属 高校	高校生、高校教諭	約30名

保健医療専門職対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	2025年度認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 講師 「ハルスケアシステム論Ⅱ」 〔統合演習Ⅱ〕	群馬県看護協会	令和7年6月13日 令和7年9月5日	群馬県看護教育 センター	看護管理者	20名
教授	飯田 苗恵	令和7年度訪問看護研修（指導者編） 〔指導方法と評価〕 講師	群馬県看護協会	令和7年12月2日 令和8年3月10日	群馬県看護教育 センター	訪問看護師	11名
教授	大澤真奈美	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 「ハルスケアシステム論Ⅰ」 講師	群馬県看護協会	令和7年9月4日	群馬県看護教育 センター	看護職者	約70名
教授	大澤真奈美	新任保健師研修会「地域診断の実際」（前期）（後期） 講師	群馬県医師会看護係	令和7年9月5日、 令和8年3月12日	群馬県立県民健康 科学大学	県内新任保健師	約50名
教授	狩野 太郎	令和7年ぐんま認定介護福祉士養成研修 講師「研究方法」〔研究活動について〕	群馬県保健福祉部介護高齢課	令和7年6月19日、 9月24日	群馬県社会福祉事業 団特別養護老人ホー ム明風園 研修室	介護福祉士	約25名
教授	狩野 太郎	令和7年度認定看護管理者制度ファースト レベル教育課程（看護情報論）	群馬県看護協会	令和7年10月16日、 17日、22日	群馬県看護教育セン ターおよびWeb配信	看護師	68名
教授	清水 裕子	認定看護管理者教育課程セカンドレベル講師	群馬県看護協会	令和7年6月14日、 21日、7月5日	群馬県看護教育 センター	看護職者	20名
教授	清水 裕子	看護研究講師	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	令和7年7月10日、9月5日、 11月5日、12月12日	高崎総合医療 センター	看護職者	20名
教授	清水 裕子	看護研究講師	社会医療法人鶴谷会鶴谷病院	令和7年7月24日、 8月18日	鶴谷病院	看護職者	20名
教授	清水 裕子	看護部リーダー研修会	医療法人真木会真木病院	令和7年8月7日	真木病院	看護職者	30名
教授	清水 裕子	管理者研修講師	医療法人山崎会サンピエール病院	令和7年11月25日	サンピエール病院	医療職者	30名
教授	行田 智子	養育支援訪問員の養成講座 家族の強みと課題の評価～支援計画の立て方～	HEALTHY FAMILY はままつ	令和7年9月21日	聖隷クリストファー大学	看護職、保育士等	2名
教授	行田 智子 宮崎有紀子	看護研究データの分析～データ分析を学ぼう～	群馬県看護協会	令和7年8月12日	群馬県看護協会	看護職	64名
教授	服部 美香	看護学実習指導者養成講習会講師： 実習評価	群馬県立県民健康科学大学	令和7年8月6日	群馬県立県民健康科学 大学・第4講義室	看護職者	約50名
教授	服部 美香	Berelson,B.の方法論を参考にした看護教育 学における内容分析	群馬県立県民健康科学大学	令和7年8月29日	群馬県立県民健康科学 大学・第2講義室	看護職等	約30名
教授	服部 美香	効果的な院内研修企画に向けて～目標設定 を考える	独立行政法人国立病院機構 北海道東北グループ	令和7年9月2日	Web	院内教育担当者	約30名
教授	服部 美香	認定看護管理者ファーストレベル講師： 統合演習Ⅰ	群馬県看護協会	令和7年11月5日～ 11月26日	群馬県看護協会	看護職者	約70名

II-3. 保健医療専門職対象の講演等

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授 教授 講師	廣瀬規代美 清水 裕子 浅見 優子	文献の読み方ー研究成果の活用の視点から 文献を読んでみようー	群馬がん看護研究会教育委員会	令和8年1月31日	群馬県立県民健康 科学大学	県内看護師	12名
教授	宮崎有紀子	准看護師再教育研修	群馬県健康福祉部医務課	令和7年5月8日	群馬県立県民健康 科学大学	准看護師	1名
教授	山下 暢子	実習中に学生が直面する問題とそれに対する 支援	長野県看護教育研究会	令和7年8月7日	Web	看護学教員	196名
教授	山下 暢子	実習指導者養成講習会 看護教育論	長野県看護協会	令和7年8月1日	長野県看護協会	看護職者	約50名
教授	山下 暢子	看護教員・臨床実習指導者フォローアップ研修ー学生の 臨床判断能力育成に向けた実習指導方法を検討するー	新潟県看護協会	令和7年8月29日	新潟県看護協会	看護職者	約30名
教授	山下 暢子	IMS実習指導者講習会「看護論」	IMSグループ	令和7年12月5日、 13日、22日	イムス池袋会議室	看護職者	約50名
准教授	上山 真美	看護研究に関する研修及び研究発表会	公立館林厚生病院	令和7年5月～ 令和8年3月	公立館林厚生病院	看護師	約15名
講師	久保 仁美	令和7年度医療的ケア児等支援に関わる看 護師研修	群馬県児童福祉課 群馬大学医学部附属病院地域医療 研究・教育センター 群馬大学大学院保健学研究科小児 看護学研究室	令和7年12月22日	群馬大学医学部附属 病院 第1スキルラ ボセンター	訪問看護師 障害児通所支援 事業所看護師	計40名
講師	佐々木馨子	訪問看護師養成研修〔ステップ1〕訪問看 護課程	群馬県看護協会	令和7年8月7日、 8月27日	群馬県看護協会	看護職	12名
講師	塩澤 麻子	令和3年厚生労働省告示第273号研修（古 示研修）	日本診療放射線技師会	令和7年度	群馬県立県民健康 科学大学	放射線技師	約60名
講師	塩ノ谷朱美 坪井 りえ 鈴木 美雪	新任保健師研修会「地域診断の実際」（後期）	群馬県医務課看護係	令和8年3月12日	群馬県立県民健康 科学大学	県内新任保健師	約50名
講師	和田 卓磨	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 「統合演習」ファシリテーター	群馬県看護協会	令和7年11月5日、6日、 12日、19日、26日	群馬県看護協会	看護職者	約70名
助教	鈴木 峰子	看護職員認知症対応能力向上研修	群馬県看護協会	令和7年8月27日	群馬県看護協会	看護職員	120名
助教	福田 未来	看護職員認知症対応能力向上研修	群馬県看護協会	令和7年8月25日	群馬県看護協会	看護職員	約100名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	五十嵐 博	入会案内	日本診療放射線技師会・群馬県診 療放射線技師会	令和7年4月20日	本学 多目的ホール	診療放射線技師	11名
教授	五十嵐 博	基本に戻って、KYTの活用とレジリエンス・ エンジニアリング	第81回日本放射線技術学会総会学術大会	令和7年4月12日	パシフィコ横浜	診療放射線技師等	200名
教授	五十嵐 博	診療放射線技師養成校における医療安全教 育の現状・課題・取り組みについて	群馬大学多職種人材育成のための 医療安全教育センター	令和7年5月28日	Web開催	診療放射線技師	105名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年6月15日	Web開催	診療放射線技師	42名
教授	五十嵐 博	放射線被ばく相談員分科会の紹介	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年8月24日	Web開催	診療放射線技師	132名
教授	五十嵐 博	うっかりミスはなぜ起きる	令和7年度 長野県 医療安全多職種合同研修会	令和7年11月29日	公益社団法人長野県看護協会	医療従事者	104名
教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年12月14日	Web開催	診療放射線技師	54名
教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	日本放射線カウンセリング学会	令和8年1月12日	Web開催	診療放射線技師	5名
教授	五十嵐 博	うっかりミスはなぜ起きる	群馬県庁診療放射線技師会	令和8年3月14日	Web開催	診療放射線技師	50名
教授	五十嵐 博	告示研修 ファシリテーター	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年7月26日、 7月27日、令和8年 1月24日、1月25日	本学多目的ホールほか	診療放射線技師	延187名
准教授 講師	丸山 星 米持 圭太		学校法人橘心会 幸手看護専門学校	令和7年5月9日	幸手看護専門学校	学生	約40名
教授	渡部 晴之	放射線について	一般社団法人千葉県臨床検査技師会	令和8年2月21日	千葉市文化センター	臨床検査技師	約40名
教授	渡部 晴之	医療における人工知能 ～研究をはじめ人のために～					
准教授	丸山 星	講演「What I learned from participating in the Summer Seminar」	第14回 日韓大学交流夏季研修会	令和7年9月1日	九州地区国立大学 九重共同研修所	大学生・大学院生・ 教員	60名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシューズセ ミナー(令和7年度)「エチケット・マナー講座」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年4月20日	群馬県立県民健康 科学大学	診療放射線技師	11名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシューズセ ミナー(令和7年度)「医療コミュニケーション」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年4月20日	群馬県立県民健康 科学大学	診療放射線技師	11名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシューズセ ミナー(令和7年度)「医療被ばくの現状とその 低減に向けた取り組み」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年4月20日	群馬県立県民健康 科学大学	診療放射線技師	11名

行政組織での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	前橋市特別養護老人ホーム等設置法人選定 委員会 副委員長	前橋市	令和7年度	前橋市役所	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県開発審査会 委員	群馬県県土整備部建築課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県建築審査会 会長代理	群馬県県土整備部建築課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県廃棄物処理施設等専門委員会 委員	群馬県廃棄物・リサイクル課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県公害審査会 委員	群馬県環境森林部環境保全課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県国土利用計画審査会	群馬県地域創成部地域創成課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県土地利用計画審査会	群馬県地域創成部地域創成課	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	群馬県保健師人材育成推進会議	群馬県健康福祉部医務課看護係	令和7年度	群馬県庁	-	-
教授	大澤真奈美	前橋市食育推進会議 会長	前橋市健康増進課	令和7年度	前橋市保健センター	-	-

II-4. 行政組織での活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	群馬県がん対策協議会がん対策推進計画検討部会 委員	群馬県保健福祉部感染症・がん疾病対策課	令和7年4月～ 令和8年3月	群馬県庁	—	—
教授	狩野 太郎	前橋市社会教育委員	前橋市	令和7年4月～ 令和8年3月	前橋市中央公民館ほか	—	—
教授	狩野 太郎	群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会市民講座企画ワーキングメンバー	群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会	令和7年7月～12月	群馬大学医学部附属病院	患者・一般市民	Web配信
教授	宮崎有紀子	群馬県衛生環境研究所倫理委員会	群馬県衛生環境研究所	令和7年6月19日	群馬県立県民健康科学大学		
教授	宮崎有紀子	健康福祉部医学系研究等倫理委員会	群馬県健康福祉部	令和7年7月15日	群馬県健康福祉部(オンライン参加)		
准教授	上山 真美	前橋市認知症初期集中支援チーム	前橋市長寿包括ケア課	令和7年度	前橋市包括支援センター西部等 対面/リモート等	—	—
准教授	櫻井 美和	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業「家族交流会」	館林保健福祉事務所	令和7年12月5日	館林美術館	小児慢性疾患患者の保護者	4名
准教授	佐藤 正樹	准看護師再教育研修 講師	群馬県健康福祉部医務課	令和7年5月9日			
講師	垣上 正裕	中堅養護教諭資質向上研修	群馬県	令和7年10月23日	群馬県総合教育センター	養護教諭	36名
講師	垣上 正裕	高校中堅教諭資質向上研修	群馬県	令和7年11月	オンデマンド動画	高校教諭	82名
講師	塩ノ谷朱美	前橋市健康づくり推進協議会	前橋市健康増進課	令和7年4月～ 令和8年3月			
講師	塩ノ谷朱美	前橋市環境審議会	前橋市環境政策課	令和7年4月～ 令和8年3月			
講師	塩ノ谷朱美	群馬県若い世代食育推進協議会	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課	令和7年4月～ 令和8年3月			
講師	鈴木 美雪	榛東村健康づくり計画策定委員	榛東村健康保険課	令和7年8月～ 令和8年3月			
講師	坪井 りえ	前橋市介護認定審査会委員	前橋市介護保険課	令和7年4月～ 令和8年3月	オンライン		
講師	坪井 りえ	前橋市自立支援給付認定審査会委員	前橋市障害福祉課	令和7年4月～ 令和8年3月	前橋市保健所		
講師	坪井 りえ	榛東村第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定委員	群馬県榛東村健康保険課	令和7年7月24日	榛東村役場		

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	五十嵐 博	ぐんま地域医療会議 構成員	群馬県医務課	令和7年4月～令和8年3月	—	—	—
教授	原 孝光	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所	令和7年度	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所		

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
准教授	川村 拓	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	令和7年度	-	-	-
准教授	杉野 雅人	前橋市放射線管理アドバイザー	前橋市環境部環境森林課	令和7年度	-	-	-
准教授	杉野 雅人	みどり市放射線対策アドバイザー	みどり市市民部生活環境課	令和7年度	-	-	-
准教授	杉野 雅人	川場村放射線対策アドバイザー	川場村役場むらづくり振興課	令和7年度	-	-	-

任意団体での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	倫理委員会委員	群馬県看護協会	令和7年度	群馬県看護教育 センター	-	-
教授	飯田 苗恵	事例検討「人工呼吸器を装着したALS療養 者の肺炎発症後の呼吸ケアについて」	群馬県内看護職自主グループ 「難病看護を考える会」	令和8年3月28日	群馬県立県民健康 科学大学	看護職	17名
教授	大澤真奈美	地域／公衆衛生看護学教育方法の開発	大学間連携による地域看護学教育 FD戦略会議	令和7年度	開催当番大学等	大学教員 (全国12大学)	約20名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者団体連絡協議会 運営委員	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和7年4月～8年3月	群馬県健康づくり 財団	患者	-
教授	狩野 太郎	ホリデーインまえばし カンパッジ製作ブー ス出展・本学ボランティアサークル	ホリデーインまえばし実行委員会	令和7年8月24日	前橋数島公園	一般市民	400名
教授	狩野 太郎	リレーフォーライフジャパン2025ぐんま副 実行委員長	日本対がん協会、リレーフォーラ イフジャパンぐんま実行委員会	令和7年10月11日～12日	ALSOKぐんま総合 スポーツセンター	患者・一般市民 (ほか)	5000名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者ミーティング2026企画・運 営・トークショー担当	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和8年2月28日	本学大講義室	患者・一般市民	約70名
教授	清水 裕子	リレーフォーライフジャパン2025	リレー・フォー・ライフ・ジャパ ンぐんま実行委員会監事	令和7年度	-	-	-
教授	清水 裕子	群馬がん看護研究会理事兼教育委員	群馬がん看護研究会	令和7年度	-	-	-
教授	行田 智子	倫理委員	看護・助産教育支援フォーラム	令和7年度	-	-	-
教授	廣瀬規代美	第21回群馬がん看護フォーラム	群馬がん看護研究会	令和7年6月28日	群馬大学	看護職者等	約10名
准教授	鶴生川恵美子	中学生の学修支援	NPO 教育支援協会北関東	令和7年4月～令和8年3月	前橋 東公民館	中学生	約40名
准教授	上山 真美	群馬コンチネンスフォーラム	群馬コンチネンスフォーラム幹事	令和7年度	対面＋リモート開催	医療関係者	約40名
准教授	佐藤 正樹	メディックフスクラブ高崎支部における運動 療法の指導	特定非営利活動法人ジャパンハートクラブ	令和7年度	-	-	-
准教授	佐藤 正樹	令和3年厚生労働省告示第273号研修 講師	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年7月26日、 令和8年1月24日	県民健康科学大学	-	-
准教授	佐藤 正樹	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 統合演習ファシリテーター	公益社団法人群馬県看護協会	令和7年11月5日～11月26日	群馬県看護協会	-	-
准教授	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション 「わたしの思いを伝えよう－断る勇気で守れる心－」	群馬ピアカウンセリング研究会	令和7年9月12日	群馬県立豊学校	高校生	30名

II-5. 任意団体での活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
准教授	高橋 裕子	子宮頸がん予防啓発イベント 「自分らしく生きるために健康な未来を切り開け ー子宮頸がんから自分を守るための第一歩ー」	群馬県健康長寿社会づくり推進課、 群馬ピアカウンセンシング研究会	令和7年11月29日	臨江閣	中高生、大学生、 一般	60名
准教授	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション 「正しい知識で自分も相手も守ろう」	群馬ピアカウンセンシング研究会	令和7年12月18日	群馬県立太田 フレックス高等学校	高校生	60名
准教授	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション 「みんなでも知ろうからだときもちー思春期に 起こる成長と変化ー」	群馬ピアカウンセンシング研究会	令和8年3月17日	群馬県立梅田中学校	中学生	40名
講師	垣上 正裕	全労働省組合北陸地方協議会 ストレス対処法 めぶくビジネススクール	厚労省 前橋市他	令和7年7月19日 令和8年2月7日	新潟県 前橋工科大学	厚労省職員 企業経営者	75名 約10名
講師	小西 美里	第30回北関東精神保健看護研究会 「精神疾患を持つ方を地域でみるということ ー訪問看護師のリアルー」	北関東精神保健看護研究会	令和7年6月28日	群馬大学 刀城会館		約30名
講師	小西 美里	第31回北関東精神保健看護研究会 「患者さんやご家族に生き活きとしたケアを 提供するために」	北関東精神保健看護研究会	令和7年11月8日	群馬大学 刀城会館		約30名
講師	小西 美里	北関東精神保健看護研究会幹事	北関東精神保健看護研究会				
講師	小西 美里	群馬県立県民健康科学大学漢語学部同窓会理事	群馬県立県民健康科学大学看護学 部同窓会				
講師	島田 葉子	館林市ふるさとづくり市民フェスティバル	日本アンガーマネジメント協会 (館林市教育委員会 生涯学習課)	令和7年5月25日	館林文化会館	ー	50名
講師	島田 葉子	親子で学ぶアンガーマネジメント2025 in 館林ー怒ってもいいんだよ、自分の怒りを 上手に伝えよう！ー	日本アンガーマネジメント協会	令和7年9月13日	館林文化会館	ー	50名
講師	富永 明子	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会 監査	群馬県立県民健康科学大学看護学 部同窓会	令和7年度			

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	五十嵐 博	群馬県環境アドバイザー	群馬県環境アドバイザー協会	令和7年度	ー	ー	
教授	下瀬川正幸	大学機関別認証評価 評価委員	一般財団法人大学教育質保証・評 価センター	令和7年度	ー	ー	ー
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和7年6月18日	桃の木川		
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和7年11月26日	桃の木川		
准教授	杉野 雅人	社会福祉法人 明正会 外部評議員	社会福祉法人 明正会	令和7年度	ー	ー	10名
准教授	丸山 星	診療放射線技師国家試験 模擬試験問題・解説の作成（医用工学）	株式会社シーイー・フォックス	令和7年度	ー		
准教授	丸山 星	診療放射線技師国家試験 模擬試験問題・解説の作成（画像工学）	株式会社シーイー・フォックス	令和7年度	ー		

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	丸山 星	学生部長	群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 同窓会	令和7年度	-		
講師	佐藤 充	群馬県診療放射線技師会	理事(企画推進・渉外広報)	令和7年度	-	-	-
講師	佐藤 充	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 協力研究員	協力研究員	令和7年度	-	-	-

他教育機関非常勤講師

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ(科目名等)	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	大澤真奈美	公衆衛生学 非常勤講師	上尾中央看護専門学校	令和7年度春期集中	上尾中央看護専門学校	看護学生	約100名
教授	大澤真奈美	産業保健 非常勤講師	足利大学看護学部	令和7年9月～10月	足利大学看護学部	看護学生	約70名
教授	狩野 太郎	東群馬看護専門学校非常勤講師(看護と情報科学)	東群馬看護専門学校	令和7年4月～8月	東群馬看護専門学校	看護学生	70名
教授	狩野 太郎	本庄児玉看護専門学校非常勤講師(研究の基礎 文献検索入門、研究方法論(1)調査・実験研究)	本庄児玉看護専門学校	令和7年12月1日	本庄児玉看護専門学校	看護学生	20名
教授	行田 智子	妊娠期の助産診断技術学	高崎健康福祉大学大学院	令和7年4月14日～ 9月21日	高崎健康福祉大学 大学院	助産専攻院生	5名
教授	服部 美香	看護研究	深谷大里看護専門学校	令和7年4月～5月	深谷大里看護専門学校	看護学生	約40名
教授	服部 美香	看護教育学	新潟県立看護大学大学院	令和7年10月～ 令和8年1月	新潟県立看護大学 (Web)	大学院生	3名
教授	宮崎有紀子	疫学	群馬パース大学	令和7年4月1日～ 9月30日	群馬パース大学	看護学生	約80名
教授	宮崎有紀子	高崎健康福祉大学研究倫理委員会	高崎健康福祉大学	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	高崎健康福祉大学		
教授	宮崎有紀子	看護学特別セミナー	群馬大学大学院	令和7年7月5日	群馬大学	大学院生	約15名
教授	宮崎有紀子	保健統計学	東京慈恵会医科大学医学部看護学科	令和7年10月1日～ 令和8年3月31日	オンライン	看護学生	約60名
教授	山崎 博幸	公衆衛生(食品保健・環境保健)	上尾中央看護専門学校	令和8年3月4日	上尾中央看護専門学校	専門学校の学生	100名
教授	山下 暢子	看護教育学	新潟県立看護大学大学院	令和7年10月～ 令和8年1月	Web	大学院生	3名
教授	山下 暢子	看護教育特論	富山県立大学大学院	令和7年10月4日、 11月8日	富山県立大学大学院	大学院生	4名
准教授	鶴生川恵美子	医療英語	前橋東看護学校	平成7年4月24日～ 9月18日	前橋東看護学校	看護学生	約24名
准教授	鶴生川恵美子	英語Ⅰ、Ⅱ	育英大学	令和7年4月11日～ 令和8年1月30日	育英大学	大学生	62名
准教授	鶴生川恵美子	放送大学・面接授業:「文学と映画で学ぶ英語 と文化3」	放送大学・群馬学習センター	令和7年6月7日～8日	放送大学・群馬学習センタ-	一般	約30名
准教授	鶴生川恵美子	英語文学	育英短期大学	令和7年9月26日～ 令和8年1月30日	育英短期大学	大学生	約10名

Ⅱ-6. 他教育機関非常勤講師

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	佐藤 正樹	看護理論	群馬大学医学部保健学科	令和7年4月21日～ 4月28日	群馬大学	看護学生	約20名
准教授	佐藤 正樹	看護理論	群馬大学大学院保健学研究科	令和7年5月7日～ 5月14日	群馬大学大学院	大学院生	5名
准教授	佐藤 正樹	情報科学	SUBARU健康保険組合太田高等看護学院	令和7年5月13日～ 5月20日	SUBARU健康保険組合 太田高等看護学院	看護学生	35名
准教授	橋本 晴美	看護学特別セミナー	群馬大学大学院保健学研究科	令和7年7月6日	群馬大学	保健学研究科博士 前期・後期学生	10名
講師	垣上 正裕	老化と発達理解	群馬パース大学福祉専門学校	令和7年4月～5月	群馬パース大学福祉 専門学校	福祉専門学校学生	40名
講師	佐々木馨子	成人看護学各論Ⅰ「セルフケアの再獲得が 要な人の看護 (神経難病)」	茨川看護専門学校	令和7年7月10日	茨川看護専門学校	看護学生	22名
講師	塩澤 麻子	母性看護学方法論Ⅰ	前橋医師会立前橋高等看護学院	令和7年6月30日～ 令和7年7月14日	前橋高等看護学院	看護学生	約40名
講師	鈴木 美雪	公衆衛生 (難病対策・健康危機管理、感染症 対策)	上尾看護専門学校	令和8年3月11日	上尾看護専門学校	看護専門学校生	約80名
講師	島田 葉子	母性看護学方法論Ⅰ	足利大学	令和7年5月13日～ 6月10日	足利大学	看護学生	80名
講師	塩ノ谷朱美	公衆衛生 (成人保健、高齢者保健)	上尾看護専門学校	令和8年3月10日・11日	上尾看護専門学校	看護専門学校生	約80名
講師	坪井 りえ	公衆衛生 (地域保健①親子保健、地域保健② 精神保健福祉・自殺対策)	上尾中央看護専門学校	令和8年3月10日～11日	上尾中央看護専門学校	看護専門学校生	80名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐藤 哲大	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和7年4月23日～ 9月24日	東群馬看護専門学校	看護学生	約50名
教授	下瀬川正幸	放射線学シミュレータ特論、放射線画像解 析学特論Ⅱ	群馬大学大学院医学系研究科	令和7年度	—	—	—
教授	林 則夫	非常勤講師：放射線画像技術学特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和7年4月1日～ 9月30日	—	—	—
教授	林 則夫	非常勤講師・X線診断機器学実験	東京都立大学健康福祉学部	令和7年5月1日～ 9月30日	東京都立大学	放射学生	40名
教授	林 則夫	非常勤講師・診療画像技術学Ⅱ	弘前大学医学部保健学科	令和7年5月22日～ 6月13日	弘前大学	放射学生	40名
教授	林 則夫	非常勤講師・診療画像解析学実習Ⅲ	群馬パース大学	令和7年11月18日～ 12月16日	群馬パース大学	放射学生	40名
教授	原 孝光	群馬大学腫瘍放射線学講座協力研究員	群馬大学	令和7年4月～ 令和8年3月	群馬大学	—	—

職位	氏 名	活動・テーマ (科目名等)	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	原 孝光	放射線管理計測学特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和7年4月～ 令和8年3月	群馬大学		
教授	原 孝光	医療基礎生物学	群馬パース大学	令和7年4月～ 令和7年9月	群馬パース大学		
教授	渡部 晴之	データサイエンス (画像系)	福島県立医科大学大学院	令和7年12月20日	福島県立医科大学	学生	15名
准教授	川村 拓	医用画像情報学実験	東京都立大学	令和7年4月1日～ 令和7年9月30日	東京都立大学	放射線学生	約40名
准教授	川村 拓	東京都立大学客員准教授	東京都立大学	令和7年度	東京都立大学	-	-
准教授	杉野 雅人	放射線安全管理特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	-	-	-
准教授	丸山 星	医療画像情報学 I	群馬パース大学	令和7年4月～ 令和7年8月	群馬パース大学	放射線学科学学生	約80名
准教授	丸山 星	医用画像処理工学	群馬パース大学	令和7年4月～ 令和7年8月	群馬パース大学	臨床工学科学学生	約40名
准教授	丸山 星	基礎物理学	群馬パース大学	令和7年4月～ 令和7年6月	群馬パース大学	理学療法科学学生 他	約80名
准教授	丸山 星	物理学	群馬パース大学	令和7年6月～ 令和7年12月	群馬パース大学	理学療法科学学生 他	約80名
准教授	丸山 星	診療画像解析学実習Ⅲ	群馬パース大学	令和7年11月～ 令和7年12月	群馬パース大学	放射線学科学学生	約80名
講師	米持 圭太	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和7年5月14日、 令和7年6月11日	東群馬看護専門学校	看護学生	53名
講師	米持 圭太	情報処理	群馬パース大学	令和7年4月1日～ 9月30日	群馬パース大学	医療技術学部学生	196名
講師	米持 圭太	メディアリテラシー	群馬パース大学	令和7年4月1日～ 9月30日	群馬パース大学	リハビリテーション 学部学生	129名
講師	米持 圭太	情報リテラシー	群馬パース大学	令和7年10月1日～ 令和8年3月31日	群馬パース大学	看護学部学生・医療 技術学部学生	88名
助教	相良 裕亮	校医学検査技術学実習	東京都立大学	令和7年10月1日～ 令和8年1月7日	東京都立大学	放射線学科	約40名
助教	津野 隼人	医学・医療用語	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和7年4月～ 令和7年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学科 学生	約15名
助教	津野 隼人	医療管理各論Ⅲ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和7年9月～ 令和8年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学科 学生	約15名

報道記事

【看護学部】

職位	氏名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ
教授	狩野 太郎	上毛新聞	地方版	令和8年3月2日	日本対がん協会会長垣添忠生先生とのトークショーの紹介、がん検診について
准教授	高橋 裕子 ピアサークル学生	上毛新聞	地方版	令和7年11月30日	子宮頸がん理解深める 前橋で予防啓発イベント
准教授 講師	高橋 裕子 塩澤 麻子 ピアサークル学生	桐生タイムス		令和8年3月19日	思春期の心と体の変化を知ろう 梅田中生で「ピアエデュケーション」

【診療放射線学部】

職位	氏名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ
教授	五十嵐 博	上毛新聞	地方版	令和7年11月16日	75周年の節目祝う
助教	津野 隼人	朝日新聞、中高生新聞	全国版	令和7年5月掲載	しごとフォーカス、医学物理士の仕事
助教	津野 隼人	朝日新聞、小学生新聞	全国版	令和7年6月掲載	教えて！〇〇のしごと」、医学物理士のしごと
助教	津野 隼人	朝日新聞、朝日学生新聞社	WEB	令和7年9月掲載	おしごととはくぶつかん、キャリア教育を届けるWeb メディア紹介します！"医学物理士のしごと https://oshihaku.jp/kenkyu/shoukai/16015845

群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程

(設置)

第1条 この規程は、群馬県公立大学法人組織規程第7条の規定に基づき、群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次のことに係る事業を実施するものとする。

- (1) 看護学教員養成課程に関すること
- (2) 看護学実習指導者養成講習会に関すること
- (3) 看護師特定行為研修課程に関すること
- (4) 県立病院・県内病院等との連携に関すること
- (5) 看護職に対する研究支援に関すること
- (6) 放射線教育・研修に関すること
- (7) 公開講座・出前講座に関すること
- (8) 情報発信に関すること
- (9) 健康福祉政策・地域連携に関すること
- (10) 健康寿命延伸プロジェクトに関すること
- (11) その他前条の目的を達成するために必要なこと

(組織)

第4条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

- 2 前条に定める事業を推進し、目的を達成するため、地域連携・キャリア開発センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）を設置する。
- 3 センター運営会議に、前条の事業を実施するため、地域連携・キャリア開発センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）を置く。
- 4 センター運営会議及びセンター運営委員会は、センター長が主宰する。
- 5 副センター長は、センター長を補佐する。

(協議及び報告)

第5条 センター長は、センター事業の運営方針や進捗状況等について、大学運営会議に協議及び報告するものとする。

(事務)

第6条 センター運営会議及び運営委員会の事務は、事務局教務係で処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、センターの設置運営に関し必要な事項については、学長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター運営会議 及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会設置運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程第7条の規定に基づき、地域連携・キャリア開発センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

(センター運営会議の組織)

第2条 センター運営会議は、次の構成員によって組織する。

- (1) 地域連携・キャリア開発センター長（以下「センター長」という。）及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) 地域連携・キャリア開発センター事業（以下「センター事業」という。）の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) 事務局長
- (5) 学外有識者
- (6) 県職員の内からセンター長が必要と認める者
- (7) その他センター長が必要と認める者

(センター運営会議委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議の運営)

第4条 センター運営会議は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営会議の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営会議の審議事項)

第5条 センター運営会議は、次の事項について審議する。

- (1) 地域連携・キャリア開発センター（以下「センター」という。）の運営方針に関する事項
- (2) センターの事業計画の策定及び評価に関する事項
- (3) センターに係る規程の制定又は改廃に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(センター運営委員会の組織)

第6条 センター運営委員会は、次の構成員によって組織する。

- (1) センター長及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) その他センター長が必要と認める者

(センター運営委員会委員の任期)

第7条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営委員会の運営)

第8条 センター運営委員会は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営委員会の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営委員会の審議事項)

第9条 センター運営委員会は、次の事項について審議する。

- (1) センターの運営及び事業の実施に関する事項
- (2) センターの事業計画及び評価の検討に関する事項
- (3) センターに係る規程の制定又は改廃の検討に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(委員以外の者の出席)

第10条 センター運営会議及びセンター運営委員会の議長は、会議の運営上必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

令和7年度地域貢献活動報告書

発行者 群馬県立県民健康科学大学
〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL 027-235-1211
FAX 027-235-2501
印刷所 朝日印刷工業株式会社



群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター
地域社会と交流を図り、ともに発展することを目指して

